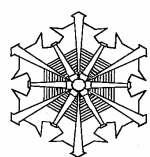


# 消 防 年 報

平 成 3 0 年 版



上野原市消防本部

## はじめに

- 1 この年報は、上野原市消防本部の消防現勢及び平成30年中の消防業務に関する諸般の事項を集録して、安全で住みよい地域づくりのために広く一般に紹介し、消防に対する関心と理解を深めていただくことを目的に編集したものです。
- 2 火災・救急等の統計については暦年、その他の諸表は年度で作成しました。

令和元年8月

**上野原市消防本部**

# 目 次

消防本部の沿革	1
---------	---

## 庶務関係

上野原市の位置	9
上野原市消防本部位置図	10
消防の組織	11
事務分掌	12
市予算と消防費	14
消防費内訳	14
消防予算額の推移	15
市の面積・世帯数・人口に対する消防力の概況	15
消防職員配置状況	16
勤務割編成状況	16
消防職員階級別年齢状況	17
消防職員勤続年数状況	18
消防職員各種免許(状)取得状況	19
施設の状況	20
現有車両一覧	20
消防装備一覧	21
消防水利の状況	22

## 警防救急関係

消防本部通信系統図	25
消防本部通信系統図	26
普通救命講習Ⅰ実施状況 講習会の内訳	27

## 予防関係

防火対象物数・立入検査状況	28
消防用設備等設置状況	29
消火・避難訓練実施状況	30
防火管理者状況	31
建築同意状況	32
数量別危険物(完成検査済証交付)施設状況	33
火薬類許可件数	33
火薬類の消費許可数量	33

危険物(完成検査済証交付)施設数及び地区別数	34
危険物施設各種事務処理状況	35
危険物施設立入検査状況	35
上野原市危険物安全協会	36

## 警 防 関 係 ( 署 )

年別火災状況	38
月別火災状況総括	39
建物火災件数	40
地区別出火件数	41
時間別出火件数	41
火災覚知別出火件数	42
原因別出火件数	42
月別火災件数	43
月別降水量	43
風向と火災件数	44
火災件数と気象状況	45
救急出場件数の推移	46
救急出場区分内訳	47
月別救急出場件数	47
時間別救急出場状況	48
曜日別救急出場状況	48
救急搬送者の傷病程度割合	49
地区ごとの傷病程度割合	49
地区別救急出場状況	50
居住地別、男女別救急搬送状況	50
年齢別搬送状況	51
年齢別の傷病程度割合	51
救急要請から救急車現場到着までの時間	52
医療機関別収容状況	53
急病の疾病別分類	54
心肺停止患者搬送先病院および不搬送(社会死)の割合	54
一般市民による応急手当(心肺停止患者への手当のみ)の状況	55
ドクターヘリ・ドクターカー	55
救急救命士が実施した処置数	56
中央道救急出場件数	57
不搬送件数内訳	58

平日・休日及び昼夜救急件数調べ	58
診療科目別内訳	58
救助出場状況	59
救助訓練写真	59

## 秋山出張所

施設の状況	60
現有車両一覧	60
消防装備一覧	60
月別火災等出動状況	61
検査・調査・広報・警戒等の実施状況	61
月別救急活動状況	62

## 桐原出張所

施設の状況	63
現有車両一覧	63
消防装備一覧	63
月別火災等出動状況	64
検査・調査・広報・警戒等の実施状況	64
月別救急活動状況	65

## 消防団関係

消防団員階級別定数と実員	66
分団別地域一覧	66
ポンプ配置状況	66
在職年数別消防団員の状況	67
年齢別・階級別消防団員の状況	68

## 東部指令センター関係

電話別 上野原市管内からの119番等受信状況	69
上野原市管内からの119番等受信状況	70

## 上野原市消防本部の沿革

年 月	旧上野原町の常備消防	旧秋山村の常備消防
昭和46年 4月	第1次上野原町長期総合計画策定 (上野原町消防本部、消防署設置検討)	
昭和47年 10月	上野原町消防本部並びに消防署の設置に関する条例制定(職員定数32名) 上野原町消防本部発足 初代消防長 古屋武雄氏就任 上野原町消防本部及び消防署仮庁舎建設 (上野原町上野原3,659番地)	
昭和48年 4月 5月 8月 12月	上野原町消防署発足(職員19名、消防ポンプ車1台、救急車1台配備) 初代署長 八木光夫氏就任 職員採用(1名) 職員採用(2名) 神奈川県津久井郡広域行政組合と消防相互応援協定締結 中央自動車道における消防応援協定に基づく覚書の一部を改正する覚書を締結 指令車(日産ブルーバードバン)購入配備 農協共済連より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備	
昭和49年 3月 4月 7月 12月	化学車(ニッサン780型)購入配備 職員採用(1名) 職員採用(2名) 消防ポンプ車(日産パトロール)購入配備 中央自動車道上野原緊急出入口供用開始	12月 秋山村の消防業務を都留市に委託 (消防業務に関する事務委託を公示)
昭和50年 1月 7月	山林火災用軽量小型ポンプ5基(C-1級)購入配備 初代消防長 古屋武雄氏退任 2代消防長 久島武正氏就任	4月 都留市消防署秋山出張所を設置 (職員5名、消防ポンプ車1台、救急車1台配備)
昭和51年 3月 7月 8月	上野原町消防本部・署庁舎建設予算6,724万円 消防庁舎設計及び建築確認同意 職員採用(1名)	4月 職員採用(1名) 6月 秋山出張所消防無線基地局を開局
昭和52年 4月 5月	職員採用(2名) 新消防庁舎完成(上野原町上野原758番地) 119番報知電話移転業務開始	

	消防庁舎落成に伴う竣工式挙行	
昭和53年		
4月	職員採用(5名)	
10月	消防訓練塔及び補助訓練塔完成 (上野原町上野原字石舟8, 447番地)	
12月	消防本部庁舎西に40立方メートル防火水槽設置	
昭和54年		
3月	(財)日本損害保険協会より救急車(トヨタハイエース)の寄贈を受け配備	4月 職員採用(1名)
5月	管理者 町長 倉田喜好氏退任 管理者 町長 加藤和男氏就任	
8月	大規模地震対策特別措置法に伴う、地震防災対策強化地域に指定 指令車(トヨタクラウンバン)購入配備	
11月	上野原町危険物安全協会設立	
12月	消防本部庁舎東に100立方メートル貯水槽設置	
昭和55年		
4月	職員採用(2名)	
昭和56年		
3月	消防ポンプ車(いすゞエルフCD-1型)購入配備	1月 職員採用(2名)
4月	第2次上野原町長期総合計画策定 (昭)56年～(平)2年 山梨県知事から町長へLPG・電気用品・火薬事務 について委譲され、消防本部で事務開始 職員採用(2名)	4月 職員採用(2名) 6月 東部消防事務連絡協議会へ加入
11月	水難救助用アルミボート(折たたみ式)及び船外機 (トーハツ)購入配備	
昭和57年		
1月	消防本部へ新車庫(軽量鉄骨)56平方メートル建設	4月 防災行政無線施設開設
3月	職員条例定数38名に改正 広報車(三菱ミニキャブ)購入、配備	
4月	初代署長 八木光夫氏退職 2代署長 水越和夫氏就任 職員採用(3名)	
7月	2代消防長 久島武正氏退任 3代消防長 坐間忠慶氏就任	
昭和58年		
2月	(財)日本損害保険協会より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備	6月 連絡車(日産サニー)購入配備
昭和59年		
3月	2代署長 水越和夫氏退任	4月 職員採用(1名)
4月	3代署長 安藤克己氏就任	11月 日本自動車工業会より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備

昭和60年	<p>3月 3代署長 安藤克己氏退任</p> <p>4月 4代署長 座間忠慶氏就任 (兼務) 職員採用(3名)</p> <p>8月 日本消防協会より広報車(三菱ギャランバン)の寄贈を受け配備</p>	
昭和61年	<p>4月 3代消防長兼4代署長 座間忠慶氏退任</p> <p>5月 4代消防長兼5代署長 水越和夫氏就任</p> <p>6月 山梨県常備消防相互応援協定が締結され、特別救助隊設置運営規定を制定</p>	4月 職員採用(1名)
昭和62年	<p>3月 4代消防長兼5代署長 水越和夫氏退職</p> <p>4月 5代消防長 上條 皎氏就任 署長事務代理 梶野松男氏就任</p> <p>5月 職員採用(1名) 管理者 町長 加藤和男氏退任</p> <p>6月 管理者 町長 奈良明彦氏就任 6代署長 富田二郎氏就任</p>	
昭和63年	<p>3月 5代消防長 上條 皎氏退任 6代署長 富田二郎氏退任</p> <p>4月 6代消防長兼7代署長 古家慶典氏就任 上野原町消防署桐原出張所開設(署員4名、消防ポンプ車1台配備) 職員採用(2名)</p> <p>11月 消防ポンプ車(三菱キャンター)購入桐原出張所に配備</p>	11月 消防ポンプ車BDI型(日産)購入配備
平成元年	<p>3月 (社)日本自動車工業会より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け本署に配備 6代消防長兼7代署長 古家慶典氏退職</p> <p>4月 7代消防長 富田二郎氏就任 8代署長 梶野松男氏就任 緊急医療情報システム運用開始</p> <p>5月 上野原町消防本部旗樹立式</p> <p>6月 職員条例定数42名に改正</p> <p>8月 指令車(日産セドリックバン)購入、本署に配備</p> <p>9月 日本消防協会より救急車(いすゞファーゴ)の寄贈を受け本署に配備 中央自動車道上野原インター開設に伴う中央自動車道救急業務開始</p> <p>10月 職員採用(1名) 桐原出張所に救急車を配備し救急業務開始</p>	



1 1月	職員採用(1名)	
1 2月	消防ポンプ車(三菱キャンター)購入、本署に配備	
平成 2年	4月 甲武トンネル開通に備え、東京消防庁並びに上野原町消防本部合同による消防演習実施 東京消防庁第八方面本部において、東京消防庁と消防相互応援協定締結 (区域甲武トンネル及び栗坂トンネル付近) 東京都西多摩郡郡檜原村と上野原町を結ぶ甲武トンネルが開通	
平成 3年	1月 職員採用(1名) 3月 救助工作車(日野レンジャー)購入本署に配備 4月 緊急通報システム(ふれあいペンダント)業務開始 第3次上野原町長期総合計画策定 (平)3年～(平)12年	
平成 4年	4月 職員採用(1名) 9月 第7回山梨県消防特別救助隊合同訓練を上野原町で実施	4月 職員採用(1名)
平成 5年	3月 7代消防長 富田二郎氏退職 8代署長 梶野松男氏退任 4月 8代消防長 梶野松男氏就任 消防署長事務代理、近田 始氏就任 6月 上野原町消防本部(署)設立20周年記念式典挙行 10月 広報指令車(トヨタカリブ)購入、本署に配備 救急車(日産キャラバン)購入桐原出張所に配備	
平成 6年	3月 化学車(日野レンジャー)購入本署に配備 4月 9代署長 近田 始氏就任 職員採用(1名) 6月 職員条例定数43名に改正	
平成 7年	3月 8代消防長 梶野松男氏退職 4月 9代消防長 諸角 弘氏就任 職員採用(1名) 消防本部内に救急救助係を新設 6月 職員条例定数45名に改正 事務連絡車(トヨタマークII)購入、本署に配備	8月 (財)日本消防協会より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備
平成 8年	2月 消防ポンプ車(三菱キャンター)購入、本署に配備 3月 9代消防長 諸角 弘氏退任 4月 10代消防長 竹田好晴氏就任	

	職員採用(1名)	
平成 9年 3月 4月	通信指令台更新 救急車(日産キャラバン)購入、本署に配備 救急車(いすゞファーゴ)を救急指導車に用途変更し本署に配備	
平成10年 3月 4月 9月 10月	10代消防長 竹田好晴氏退職 檜原村と消防団相互応援協定締結 小菅村と消防団相互応援協定締結 11代消防長 鈴木史郎氏就任 初の救急救命士1名が誕生 津久井郡広域行政組合と消防相互応援協定の一部改正を締結 藤野町と消防相互応援協定締結 移動体119番代表受信消防本部(富士五湖)から転送運用開始	
平成11年 3月 11月	安田生命保険相互会社より高規格救急車(日産パラメディック)の寄贈を受け本署に配備 救急救命士1名が誕生	
平成12年 3月 4月 8月 10月	秋山村と消防相互応援協定締結 職員採用(3名) 指令車(日産リバティ)購入、本署に配備 消防本部「救急救助係」を「警防救急係」に改める 消防署「第一部警防係・第二部警防係」を「警防第一係」「警防第二係」に改める	
平成13年 3月 4月 12月	11代消防長 鈴木史郎氏退職 12代消防長 小俣 博氏就任 職員採用(1名) 救急救命士1名が誕生 救急救命士1名が誕生	4月 防災行政無線施設個別受信機設置
平成14年 2月 4月 5月	トヨタ救急車(救急II課程対応型)購入、桐原出張所に配備 10代署長 溝呂木忠男氏就任 大月市消防本部と人事交流開始 平成14年度山梨県水防訓練を上野原町で実施	3月 (財)日本損害保険協会よりポンプ車CDI型(いすゞ4WD)の寄贈を受け配備

8月	第17回山梨県消防特別救助隊合同訓練を上野原町で実施	
9月	山梨県遊技業協同組合より指令車(トヨタカローラフィールダー)の寄贈を受け本署に配備	
11月	上野原町消防本部(署)設立30周年記念式典挙行 救急救命士1名が誕生	
平成15年		
3月	12代消防長 小俣 博氏退職	
4月	13代消防長 近田 始氏就任	
		11月 初の救急救命士1名が誕生
平成16年		
4月	行政機構改革で消防本部及び消防署の係制を担当制に改め責任者としてリーダーを選任した 救急救命士1名が誕生	
11月	救急救命士1名が誕生	12月 救急用ヘリコプター離着陸場完成
平成17年		
		2月 上野原町との合併により、「都留市・秋山村、消防に関する事務の事務委託に関する規約」を廃止 都留市消防署秋山出張所閉所式挙行
2月	上野原町と秋山村が合併し上野原市誕生 上野原市消防本部発足 1本部2課(庶務課・消防課)3担当、1署2担当、2出張所体制とし消防署に副署長を配置 職員定数53名(旧上野原町45名・旧秋山村8名) 初代消防長 近田 始氏就任 初代署長 溝呂木忠男氏就任 初代消防課長 須藤博仁氏就任、初代庶務課長 土屋秀比古氏就任	
3月	高規格救急車(トヨタハイメディック)購入、本署に配備	
	初代消防長 近田 始氏退職	
4月	2代消防長 中村初男氏就任 救急救命士1名が誕生	
12月	秋山出張所にホース洗浄用水槽及び乾燥塔を建設	
平成18年		
3月	移動体119番直接受信業務開始	
4月	上野原市防災情報提供システム実施要綱により防災メールの配信開始 自家用発電設備を整備	
10月	山梨県地震防災訓練を上野原市で実施	
平成19年		
3月	2代消防長 中村初男氏退職	
4月	3代消防長 安藤芳夫氏就任 職員採用(2名) 消防本部「庶務課」と「消防課」を統合し「消防総務課」に改める これにより1本部1課3担当、1署2担当、2出張所体制となる 初代消防総務課長 土屋秀比古氏就任	

5月	救急救命士1名が誕生
10月	鉄道災害時における消防機関と鉄道事業者との連携に関する協定を締結
<b>平成20年</b>	
3月	高規格救急車(日産パラメディック)購入、秋山出張所に配備 初代署長 溝呂木忠男氏退職
4月	2代署長 高橋秀樹氏就任 消防署の副署長を2人体制 職員採用(4名)
5月	救急救命士1名が誕生
8月	神奈川県企業庁より助成を受け事務連絡車(ホンダシビック)を本署に配備
<b>平成21年</b>	
3月	3代消防長 安藤芳夫氏退職 2代署長 高橋秀樹氏退職
4月	4代消防長 湯川清平氏就任 3代署長 久島末夫氏就任 職員採用(2名) 1名は救急救命士
5月	救急救命士1名が誕生
<b>平成22年</b>	
4月	職員採用(2名)
5月	救急救命士1名が誕生
<b>平成23年</b>	
3月	4代消防長 湯川清平氏退職
4月	5代消防長 小笠原徳喜氏就任 職員採用(4名)
<b>平成24年</b>	
2月	新消防庁舎基本計画策定
3月	高規格救急車(トヨタハイエース)購入、本署に配備 5代消防長 小笠原徳喜氏退職 3代署長 久島末夫氏退職 大月市及び上野原市との梯子車配備に関する共同運用
4月	6代消防長 佐藤 茂氏就任 4代署長 高橋清房氏就任 職員採用(2名)
5月	特命消防庁舎建設担当設置
10月	特命指令装置整備準備担当設置
<b>平成25年</b>	
3月	新消防庁舎実施設計 都留市・大月市・上野原市消防指令事務協議会設置
4月	職員採用(2名)
<b>平成26年</b>	
3月	消防ポンプ車(日野デュトロ)購入、本署に配備 6代消防長 佐藤 茂氏退職(再任用) 4代署長 高橋清房氏退職
4月	沢松防災広場臨時ヘリポート完成

5月	5代署長 磯部 忠氏就任
12月	職員採用(1名)救急救命士 平成26年度山梨県水防訓練を上野原市で実施 消防ポンプ車(日野デュトロ)購入、桐原出張所に配備
<b>平成27年</b>	
3月	山梨県東部指令センター運用開始(都留市、大月市共同運用) 新消防庁舎訓練塔竣工式挙行(松留)
4月	6代消防長 佐藤 茂氏退職 7代消防長 水越 右士氏就任 6代署長 清水 正司氏就任 甲府地区消防本部との人事交流
12月	職員採用(1名) 高規格救急車(ハイエース)購入、本署に配備
<b>平成28年</b>	
3月	7代消防長 水越 右士氏退職
4月	8代消防長 磯部 忠氏就任
5月	職員採用(1名)救急救命士 救急救命士1名が誕生
10月	日本消防協会消防団員等福祉共済推進事業により消防団車両(フォレスター)交付 本署に配備
<b>平成29年</b>	
2月	救助工作車購入、本署に配備
4月	職員採用(1名)
5月	救急救命士1名誕生
10月	職員採用(2名)
<b>平成30年</b>	
3月	高規格救急車購入、桐原出張所に配備 軽指令車を購入、本署に配備
4月	職員採用(3名) 女性職員1名初採用
5月	救急救命士1名誕生
<b>平成31年</b>	
3月	水槽付ポンプ自動車(CAFS装置付)本署に配備 8代消防長 磯部 忠氏退職(9代消防長として再任用) 6代署長 清水 正司氏退職(消防司令補として再任用)
4月	職員採用3名(救急救命士1名) 7代署長 小俣 直人氏就任
5月	救急救命士1名誕生

# 庶務關係

## 上野原市の位置



上野原市は、平成17年2月13日に旧上野原町と旧秋山村との町村合併により誕生しました。

山梨県東端の県境に位置し、首都圏から山梨県への玄関口にあたり、周囲は都留市、大月市、小菅村、檜原村(東京都)、相模原市(神奈川県)に接する、総面積170.57km<sup>2</sup>、人口23,195人の市です。

※ 人口は住民基本台帳及び外国人登録法に基づく人口 平成31年4月1日現在

経緯度

東経 139度10分

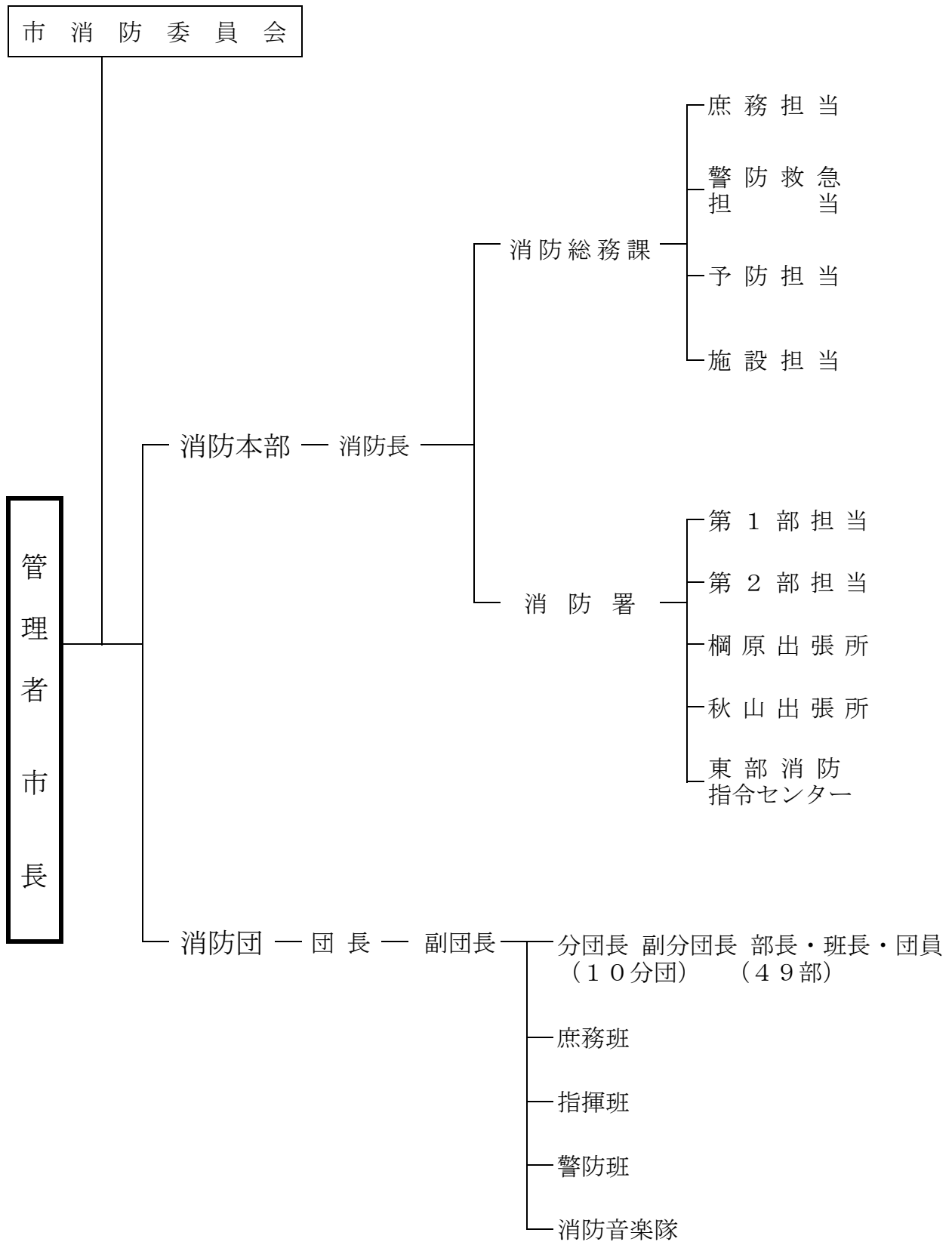
北緯 35度62分

# 上野原市消防本部位置図





# 消 防 の 組 織



# 事 務 分 掌

消 防 部	消 防 課	庶 務 担 当
		1 消防の組織及び総合企画に関すること。
		2 秘書事務及び機密事務に関すること。
		3 渉外に関すること。
		4 公印の管理に関すること。
		5 文書の収発及び統計に関すること。
		6 予算、決算等の経理に関すること。
		7 職員の任免分限懲戒、服務、研修福利厚生その他人事に関すること。
		8 職員の教養に関すること。
		9 広報及び広聴に関すること。
		10 物品の調達、検収及び管理に関すること。
		11 消防委員会及び消防職員委員会に関すること。
		12 庁舎の維持管理に関すること。
		13 その他庶務に関すること。
		14 他の担当に属しないこと。
		15 担当内の業務状況の把握、調整等に関すること。
		16 消防団の組織、機構に関すること。
		17 消防団行事の予定及び企画に関すること。
		18 団員の公務災害補償及び福祉共済に関すること。
		19 消防署及び消防団の出場態勢に関すること。
		20 婦人消防隊及び婦人消防隊正副隊長に関すること。
		21 消防協会、消防協力会に関すること。
22 その他消防団等に関すること。		
本 課	務	警 防 救 急 担 当
		1 災害予防の総合計画に関すること。
		2 水火災等の防ぎよ及び研究に関すること。
		3 消防、警防計画及び水防計画に関すること。
		4 救急救助技術の研究に関すること。
		5 ヘリコプターに関すること。
		6 災害派遣、応援協定に関すること。
		7 消防職員、消防団員等の訓練に関すること。
		8 応急手当の普及啓発活動に関すること。
		9 火災調査及びり災証明に関すること。
10 その他警防救急等に関すること。		
部	課	施 設 担 当
		1 担当の業務の把握・連絡調整等に関すること。
		2 通信消防指令設備の整備に関すること。
		3 防災無線に関すること。
		4 指令業務共同運用に関すること。
		5 その他通信消防指令施設等に関すること。
		6 庁舎の整備に関すること。
		7 消防施設の整備に関すること。
8 消防団の施設、設備及び車両の維持管理に関すること。		
部	課	予 防 担 当
		1 災害予防の総合企画に関すること。
		2 予防査察及び立入検査に関すること。
		3 危険物等の規制及び火災予防に関すること。
		4 建築確認の同意等に関すること。
		5 火薬類の譲渡、消費等の許可に関すること
		6 電気用品の安全表示監視等に関すること。
		7 液化石油ガス設備等の届出受理事務に関すること。
		8 防火対象物等の違反処理に関すること。
		9 火災予防条例等の予防関係の届出事務に関すること。
		10 危険物安全協会、防火委員会その他火災予防関係団体に関すること。
		11 消防用設備の検査及び点検に関すること。
12 その他予防に関すること。		

消 防 本 部 署	消 防 本 部 署	<b>第 1 部 担 当 ・ 第 2 部 担 当</b>
		1 水火災等の業務及びその他の災害に関すること。
		2 職員の教養、訓練及び服務に関すること。
		3 地利、水利に関すること。
		4 消防機械器具の運用管理に関すること。
		5 消防職員、消防団員等の訓練に関すること。
		6 火災予防条例等の警防関係の届出事務に関すること。
		7 火災調査及びその他の災害調査に関すること。
		8 警防・水防計画に関すること。
		9 消防統計に関すること。
		10 その他警防に関すること。
		11 庶務に関すること。
		12 救急業務に関すること。
		13 救助業務に関すること。
		14 応急手当の普及啓発活動に関すること。
		15 救急・救助訓練に関すること。
		16 救急・救助資機材に関すること。
		17 救急・救助報告に関すること。
		18 その他救急、救助に関すること。
		19 災害の予防対策及び指導に関すること。
		20 予防査察及び立入検査に関すること。
		21 建築確認の同意等に関すること。
		22 火災予防条例等の予防関係の届出事務に関すること。
		23 その他予防に関すること。
		24 消防通信、消防信号及び防災無線の運用に関すること。
		25 火災警報に関すること。
		26 気象観測に関すること。
		27 通信施設の維持運用に関すること。
		28 通信技術の訓練指導に関すること。
29 その他気象、通信に関すること。		
		<b>桐 原 出 張 所 ・ 秋 山 出 張 所</b>
		1 水火災等の業務及びその他の災害に関すること。
		2 地利、水利に関すること。
		3 消防機械器具の運用管理に関すること。
		4 救急業務に関すること。
		5 救助業務に関すること。
		6 消防職員、消防団員等の訓練に関すること。
		7 消防通信及び消防信号に関すること。
		8 火災予防条例等の届出事務(別に定める)に関すること。
		9 応急手当の普及啓発活動に関すること。
		10 火災調査及びその他の災害の調査に関すること。
		11 予防査察及び立入検査に関すること。
		12 出張所の庶務に関すること。
		13 庁舎及び付属施設の保全に関すること。
		14 その他特に命ぜられること。
		<b>東 部 消 防 指 令 セ ン タ ー</b>
		1 災害情報の受信、出動指令、通信統制、支援情報の送信等に関すること。
		2 消防通信指令の企画及び総合調整に関すること。
		3 指令センターの維持管理に係る予算及び決算の調整に関すること。
		4 指令センターの維持管理に要する経費の支弁に関すること。
		5 指令システムの設計、情報の処理及び管理に関すること。
		6 指令システム保守管理に関すること。

## 市 予 算 と 消 防 費

(単位：千円)

区 分 年 度	一般会計当初予算 ( A )	消防費当初予算 ( B )	B / A
平成24年度	10,328,278	566,077	5.5%
平成25年度	10,599,733	902,985	8.5%
平成26年度	11,250,265	1,027,456	9.1%
平成27年度	11,592,194	601,867	5.2%
平成28年度	13,436,758	694,852	5.2%
平成29年度	10,901,418	559,411	5.1%
平成30年度	10,282,764	657,652	6.4%

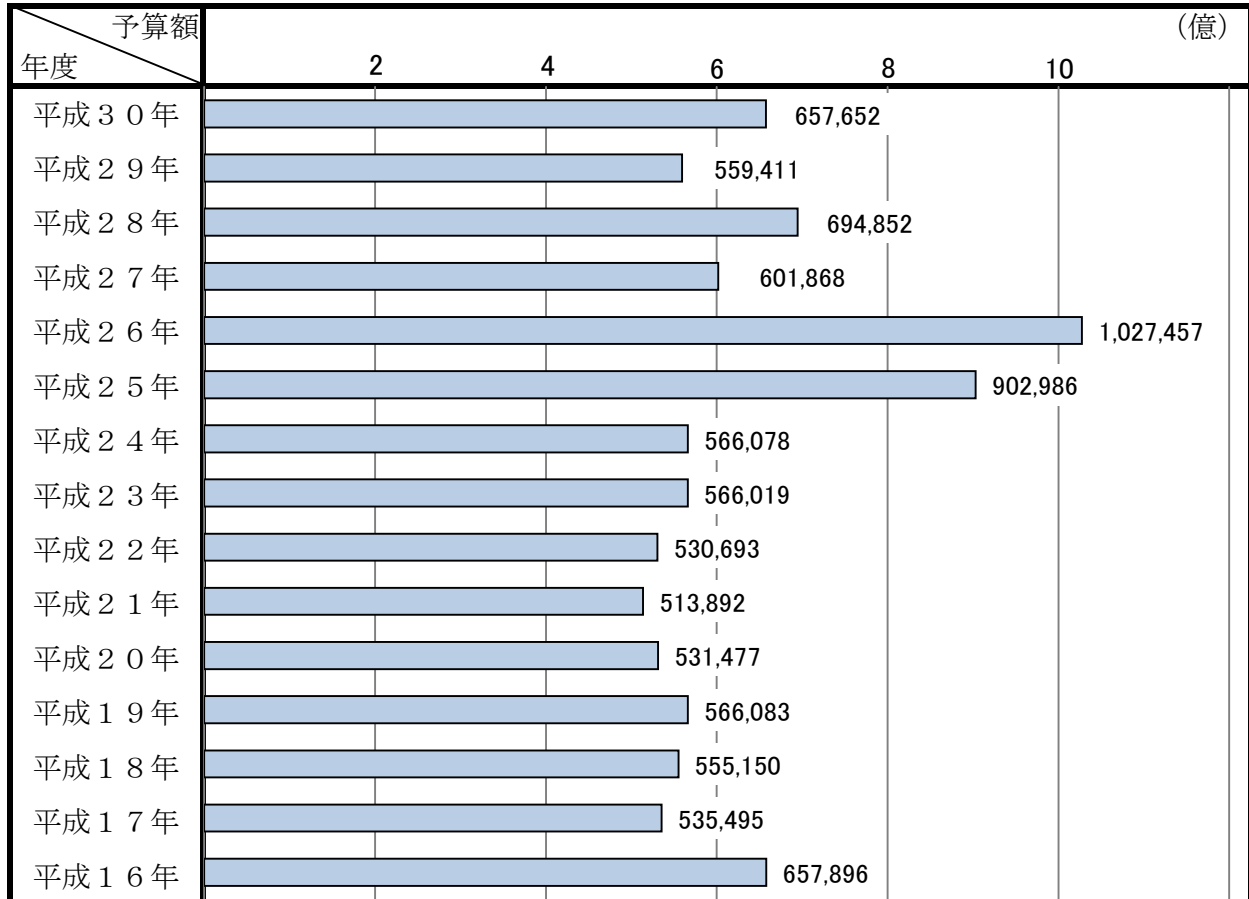
## 消 防 費 内 訳

(単位：千円)

目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較	本 年 度 予 算			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
常備消防費	521,235	508,258	12,977			12,231	509,004
非常備 消防費	50,855	50,853	2			40	50,815
消防施設費	85,562	300	85,262		84,600		962
計	657,652	559,411	98,241		84,600	12,271	560,781

# 消防予算額の推移

(単位：千円)



※平成16年度までは旧上野原町と旧秋山村の合算数値です。

## 市の面積・世帯数・人口に対する消防力の概況 (H31. 4. 1)

区分 地区名	消防団ポンプ1台当り			消防団員1人当り		消防吏員1人当り	
	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯 (戸)	人口 (人)	世帯 (戸)	人口 (人)	世帯 (戸)
大目	1.78	171.8	86.8	11.3	5.7	399.9	171.3
甲東	2.56	134.6	52.6	9.0	3.5		
巖	2.15	949.0	390.7	65.4	26.9		
大鶴	1.20	224.8	95.5	18.0	7.6		
島田	2.97	660.3	286.7	27.1	11.8		
上野原	1.28	1387.6	606.3	82.3	36.0		
桐原	2.95	103.6	46.1	8.7	3.9		
西原	6.11	92.7	47.2	7.1	3.6		
秋山	3.00	107.9	40.5	8.8	3.3		
市全体	2.75	374.1	160.3	26.4	11.3		

## 消 防 職 員 配 置 状 況 (H31.4.1)

階 級		合 計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
区 分								
条例定数		53						
実 員		58	1	10	14	9	13	11
消 防 本 部	小 計	12	1	4	2	1	1	3
	消 防 長	1	1					
	課 長	1		1				
	消防総務課	10		3	2	1	1	3
消 防 署	小 計	46		6	12	8	12	8
	署 長	1		1				
	副 署 長	2		2				
	第 1 部 担 当	12		1	3	2	3	3
	第 2 部 担 当	13		1	3	3	3	3
	桐原出張所	7			3	1	2	1
	秋山出張所	8		1	1	2	3	1
山梨県東部 消防指令センター		3			2		1	

## 勤 務 割 編 成 状 況 (H31.4.1)

階 級		合 計	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
区 分								
計		58	1	10	14	9	12	12
日 勤		11	1	5	2			3
1 部		12		2	3	2	2	3
2 部		14		2	3	3	3	3
桐原出張所	1 部	4			2		1	1
	2 部	4			1	1	1	1
秋山出張所	1 部	4			1	1	2	
	2 部	4		1		1	1	1
消防防災航空隊		1				1		
人事交流職員		1					1	
山梨県東部 消防指令センター		3			2		1	

### 消防職員階級別年齢状況 (H31. 4. 1)

階級 年齢	合 計	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
合計人員	58	1	10	14	9	12	11
平均年齢	40	60	55.7	51.1	42.8	29.4	23
19歳	1						1
20歳	2						2
21歳	3						3
22歳	1						1
23歳	1						1
24歳	0						
25歳	3					2	1
26歳	1						1
27歳	3					1	2
28歳	0						
29歳	2					2	
30歳	4				1	3	
31歳	1					1	
32歳	2					2	
33歳	3				2	1	
34歳	0						
35歳	0						
36歳	0						
37歳	0						
38歳	0						
39歳	0						
40歳	1				1		
41歳	0						
42歳	2				2		
43歳	2			1	1		
44歳	0						
45歳	1			1			
46歳	0						
47歳	1			1			
48歳	0						
49歳	2			2			
50歳	3			3			
51歳	1			1			
52歳	2		1	1			
53歳	1			1			
54歳	1		1				
55歳	1		1				
56歳	2		2				
57歳	0						
58歳	4		3	1			
59歳	3		2	1			
60歳	3	1		1	1		
61歳	1				1		
62歳	0						
63歳	0						
64歳	0						
65歳	0						

### 消防職員勤続年数状況 (H31.4.1)

階級 年数	合 計	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
合計人員	58	1	10	14	9	12	12
新任	3						3
1年	5						5
2年	1						1
3年	1						1
4年	1						1
5年	1						1
6年	2					2	
7年	2					2	
8年	3					3	
9年	2					2	
10年	1				1		
11年	4				1	3	
12年	1				1		
13年	0						
14年	0						
15年	0						
16年	0						
17年	0						
18年	1				1		
19年	3				3		
20年	0						
21年	0						
22年	0						
23年	1			1			
24年	1			1			
25年	1			1			
26年	0						
27年	2			1	1		
28年	1			1			
29年	2			2			
30年	0						
31年	2		1	1			
32年	1		1				
33年	1			1			
34年	3		2	1			
35年	1			1			
36年	0						
37年	3		3				
38年	3		1	1	1		
39年	1		1				
40年	0						
41年	2		1	1			
42年	2	1		1			



## 消 防 職 員 各 種 免 許 ( 状 ) 状 況 調

免許・資格種類		階級	合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
運転免許	大型		45	1	10	14	9	8	3
	中型		40	1	9	14	9	5	2
	準中型		8					3	5
	普通		58	1	10	14	9	12	12
	自動二輪車		13		3	1	5	1	3
自動車整備士			1				1		
危険物取扱者	乙種三類		1			1			
	乙種四類		17		4	4	4	5	
	乙種五類		1			1			
	乙種六類		1		1				
消防設備士	甲種四類								
	乙種四類								
	乙種五類								
	乙種六類		3		1	1	1		
	乙種七類								
応急手当指導員養成講習修了者			10		4	6			
応急手当指導員講習修了者			54	1	10	13	9	12	9
消防職員によるAED講習修了者			55	1	10	14	9	12	9
救急隊員資格者	救急救命士		19		4	6	2	4	3
	標準課程修了者		33			5	7	12	9
	Ⅱ課程修了者		22	1	10	9	2		
	I課程修了者								
予防技術検定	防火査察					1	1	2	1
	消防用設備					1			
	危険物					1	1		
特殊無線技士（第一級）			2			1	1		
特殊無線技士（第二級）			55	1	10	14	9	12	9
第4級アマチュア無線技士			20		9	10	1		
ガス溶接技士			3			2	1		
アーク溶接技士			1			1			
海技免状（小型船舶操縦士）			19		1	5	7	6	
小型移動式クレーン			45	1	10	14	9	10	1
玉掛け技能士			46	1	10	14	9	9	3
ボイラー技士			1			1			
大型特殊車両系建設機械運転者			3			2	1		

## 施 設 の 状 況

区 分	所 在 地	建 物 構 造	建 築 面 積 延 べ 面 積	敷 地 面 積
上野原市消防本部	上野原市 松留514番地8	RC造・S造 2階建	1,420.44㎡	11,834.51㎡
上野原市消防署			1,959.77㎡	
上野原市消防署 桐原出張所	上野原市 桐原10744番地1	鉄骨構造 1階建	119.88㎡ 542.85㎡	709㎡
上野原市消防署 秋山出張所	上野原市 秋山7131番地 <small>上野原市役所秋山支所内に併設</small>	RC構造 3階建	519.07㎡ 1960.06㎡	1208.04㎡

注：秋山出張所にあつては、上記記載の一部を占有

## 現 有 車 両 一 覧

区 分	車 種	車 両 名	年 式	排 気 量	規 格
消 防 本 部  消 防 署	ポンプ車	日野 デュトロ	H30	4000cc	A-2
	ポンプ車	日野 デュトロ	H26	4000cc	A-2
	化学車	日野 レンジャー	H6	7410cc	A-2
	救助工作車	日野 II型	H28	6400cc	
	救急車	トヨタ ハイエース	H27	2690cc	高規格
	救急車	トヨタ ハイエース	H24	2690cc	高規格
	広報指令車	トヨタ カローラ	H14	1490cc	
	指令車	ダイハツハイゼットカーゴ	H30	650cc	軽自動車
	指導車	トヨタ ハイメディック	H17	3370cc	高規格
	消防団車	日産 フォレスタ	H28	1995cc	
	事務連絡車	ホンダ シビック	H20	1330cc	
桐原出張所	ポンプ車	日野 デュトロ	H26	4000cc	A-2
	救急車	トヨタ ハイエース	H30	2690cc	高規格
秋山出張所	ポンプ車	いすゞ エルフ	H14	4570cc	A-1
	救急車	日産 パラメディック	H20	3490cc	高規格

# 消 防 装 備 一 覧

区分	品 名	数量
通信機器等	加入電話回線数	4
	専用報知電話	12
	防災行政無線局(県)	2
	消防防災無線局(市)	1
	遠隔制御装置(本部無線機)	1
	卓上無線機	1
	可搬無線機	1
	車載無線機	9
	携帯無線機	18
ファクシミリ	2	
救助	緩降機	1
	耐電手袋	8
	ハンマードリル	1
	ハンマー	3
	鉄線カッター	4
	伸縮梯子(3連)	3
	伸縮梯子(2連)	1
	かぎ付きはしご	2
	ワイヤー梯子	1
	レシプロソー	1
	エンジンカッター	3
	ガス溶断機	1
	チェンソー	3
	救命索発射銃	2
油圧式救助器具一式	1	
資材	送排風機	1
	縛帯	6
	安全ベルト	6
	シットハーネス	7
	サバイバースリング	1
	滑車	27
	救助用ロープ(100m)	2
	救助用ロープ(50m)	5
	救助用ロープ(40m)	2
	救助用ロープ(30m)	4
救助用ロープ(20m)	2	
機材等	張力計	1
	救助用ポート(アルミ、ゴム)	2
	船外機	2
	救命胴衣	21
	救命浮輪	3
	チルホル	3
	山岳救助器具一式	1
	舟型担架	1
	防毒マスク	9
	耐熱服	2
	マット型空気ジャッキ一式	1
	キャリングラック	1
	パーティカルストレッチャー	1
	ピタゴール	1

区分	品 名	数量
	化学防護服 Aタイプ	2
	化学防護服 Bタイプ	2
消防資材等	空気呼吸器	14
	予備ボンベ	37
	発電機	7
	ジェットシューター	34
	ホース背負いかご	6
	携帯用拡声器	10
	弁慶	7
	投光機	5
	ホースカー	2
	小型ポンプ	2
救助資材等	ホースブリッジ	7
	高発泡	1
	ホース(65mm)	20
	ホース(50mm)	150
	ドラゴン	1
	インパルス	1
	非接触温度計	1
	心電図一式	2
	除細動器一式	7
	自動心肺蘇生器	2
その他資材等	自動吸引器	3
	血圧計	5
	全身固定器具一式	3
	エアーストレッチャー	4
	スクープストレッチャー	4
	バキュームスプリント	2
	訓練用人形(大人)	8
	訓練用人形(小児)	1
	訓練用人形(乳児)	1
	デジタルカメラ	3
その他資材等	ビデオカメラ	2
	プロジェクター	2
	高圧コンプレッサー	1
	有毒ガス検知器	2
	音量計	2
	放射線測定器	6
	高感度照度計	1
	絶縁抵抗計	1
	酸素濃度測定器	1
	携帯用GPS	2
エアーテント	2	
その他資材等	煙体験ハウスセット	1
	雨量計	1
	自記寒暖計	1
	風向風速計	1
	ガレージジャッキ	2
	12・24Vバッテリー充電器	1

## 消 防 水 利 の 状 況

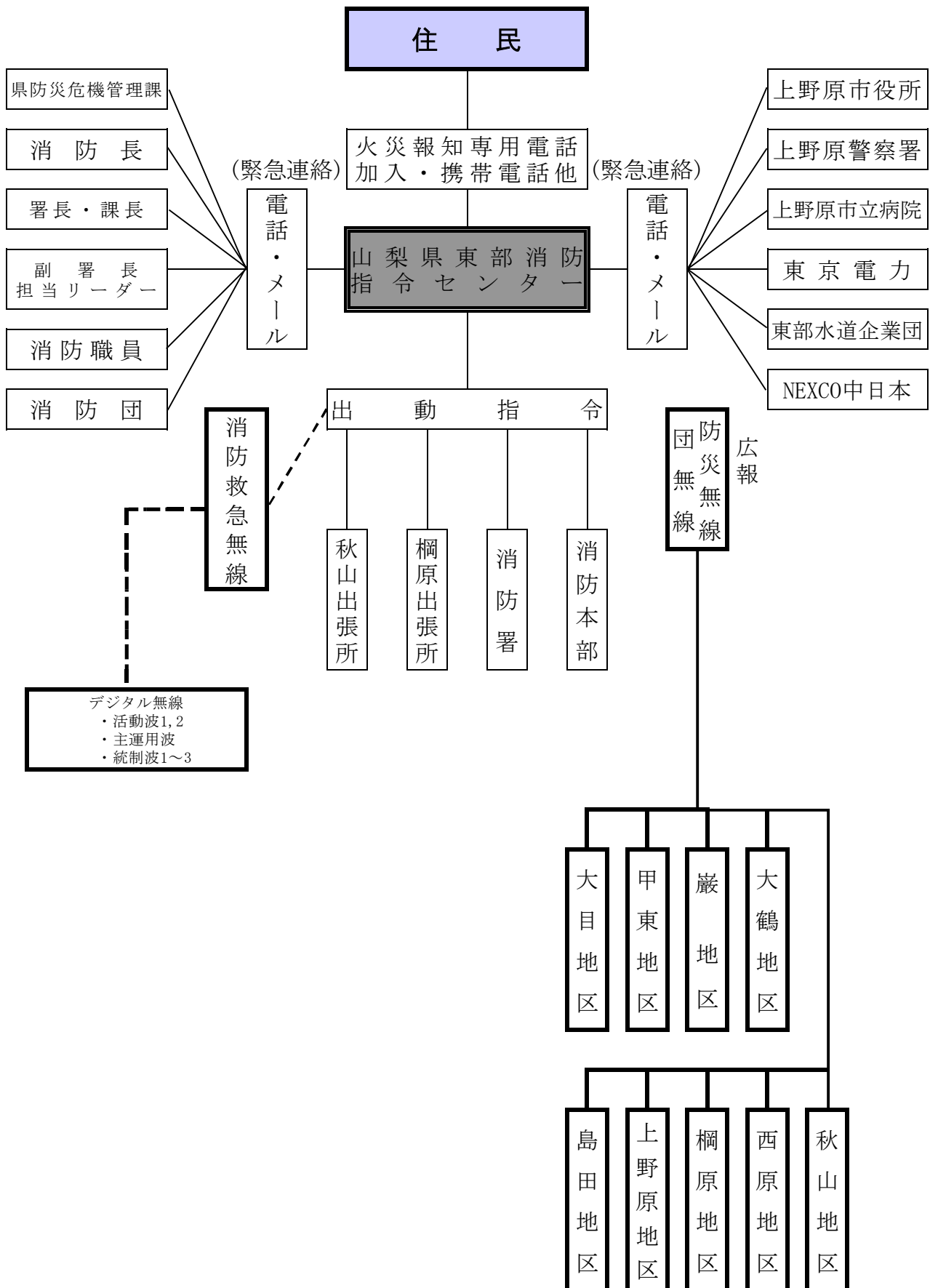
地 区	分団名	部名	現有防火水槽 (m <sup>3</sup> )				消火栓
			39 以下	40 - 59	60 - 99	100 以上	
犬目・恋塚	大目	第一部		6		2	23
東大野・西大野・日向・花坂	大目	第二部	1	4	7		11
大田・大沢・日留野・谷後	大目	第三部	1	4	2		10
新田・矢坪・談合坂	大目	第四部	1	4	3		4
南米沢・高橋	大目	第五部	1	4	2	1	5
小 計			4	22	14	0	53
野田尻	甲東	第一部		5	1	0	18
和見・増原	甲東	第二部	4	2	1		3
棚頭	甲東	第三部		7	1		5
東区・瀬淵	甲東	第四部		5	2		6
芦垣	甲東	第五部		2	2		3
西区	甲東	第六部		10	1		16
荻野	甲東	第七部		4	1		7
小 計			4	35	9	0	58
八ッ沢・西東京工業団地・仲山	巖	第一部	1	10	5	0	36
松留	巖	第二部		6	2		12
牧野・当月・栃穴・杖突	巖	第三部	0	7	3	0	7
奥平・久保・仲居 コモアしおつ	巖	第四部		16	3	0	38
川合	巖	第五部	2	3	1		12
千足	巖	第六部		3			5
小 計			3	45	14	0	110
大倉	大鶴	第一部		5	1		10
鶴川・上ノ山	大鶴	第二部	0	8	2		5
日野・大柵	大鶴	第三部		11	1		9
大曾根・小倉・陽光台	大鶴	第四部		6	3	0	5
小 計			0	30	7	0	29

地 区	分団名	部名	現有防火水槽 (m <sup>3</sup> )				消火栓
			39 以下	40 - 59	60 - 99	100 以上	
上新田・中新田・下新田	島田	第一部	2	8	4		25
鶴島	島田	第二部	0	14	8	1	32
田野入	島田	第三部		5	2		17
小 計			2	27	14	1	74
諏訪・塚場・新町	上野原	第一部	3	17	2	4	51
原・新田倉・田町・本町	上野原	第二部		4	4	5	43
羽佐間・小沢・西シ原 新井・山風呂・向風	上野原	第三部	3	6	4	3	28
八米	上野原	第四部		1	1	1	3
先祖・丸畑・奈須部 工業団地	上野原	第五部	2	9	2		21
小 計			8	37	13	13	146
尾続・登下	桐原	第一部		8	1		6
用竹	桐原	第二部	3	10	2		10
井戸・黒田	桐原	第三部	3	2	2		12
小伏	桐原	第四部	3	3	1		
椿・猪丸	桐原	第五部		15	1	1	6
日原	桐原	第六部		5	2		14
大垣外	桐原	第七部		6	1		6
沢渡・坂本・梅久保・小桐	桐原	第八部	1	8	5		
小 計			10	57	15	1	54
初戸・藤尾	西原	第一部	0	3	2		15
田和・上平・扁盃・下城 川通り	西原	第二部	3	11	5		19
郷原	西原	第三部		6	2	0	10
原	西原	第四部		4	2		11
飯尾	西原	第五部		4	1		7
小 計			3	28	12	0	62

地 区	分団名	部名	現有防火水槽 (m <sup>3</sup> )				消火栓
			39 以下	40 - 59	60 - 99	100 以上	
無生野・浜沢・原	秋山第一	第一部		11			23
尾崎・寺下・板崎	秋山第一	第二部		11			28
大地・遠所・栗谷・中野	秋山第一	第三部		11		2	29
小 計				33		2	80
神野・小和田・古福志	秋山第二	第一部		12			27
桜井・金山	秋山第二	第二部		7	0	0	17
富岡・一古沢・安寺沢	秋山第二	第三部		7			36
小 計				26	0	0	80
合 計			34	340	98	17	729

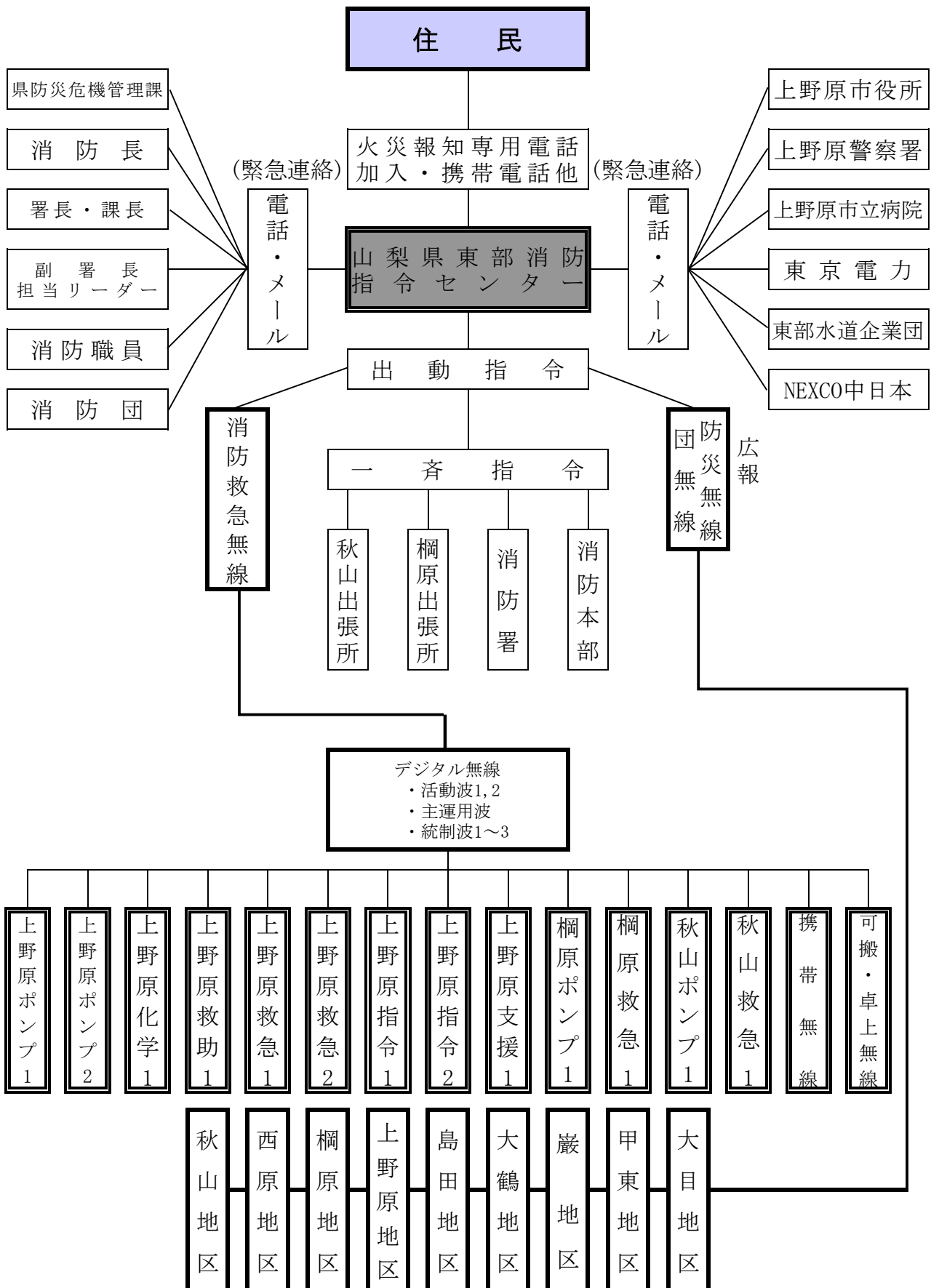
# 警防救急關係

# 消防本部通信系統図





# 消 防 本 部 通 信 系 統 図



## 救命講習会(普通救命講習 I)実施状況

月	日	受講対象	講習内容	講習時間 (分)	受講者数(人)		
					男	女	合計
5	26	一般	・救命の連鎖と住民の役割  ・心肺蘇生法(実技)  ・AEDの使用法  ・異物除去法  ・止血法	180	8	0	8
6	2	大学生		180	15	6	21
6	16	大学生		180	15	6	21
6	23	大学生		180	15	6	21
6	30	大学生		180	15	8	23
7	7	大学生		180	14	6	20
7	23	高校生		180	2	0	2
7	28	一般		180	8	6	14
8	7	事業所		180	0	3	3
8	11	事業所		180	5	0	5
8	22	中学生		180	1	0	1
8	25	事業所		180	5	0	5
9	30	事業所		180	5	0	5
10	20	事業所		180	4	0	4
10	31	中学生		180	4	0	4
11	21	高校生		180	1	15	16
11	24	一般		180	0	4	4
1	19	一般		180	7	6	13
2	4	高校生		180	5	3	8
2	19	事業所		180	11	1	12
2	20	事業所		180	0	5	5
2	21	事業所		180	3	2	5
2	27	事業所		180	5	1	6
2	28	事業所		180	5	0	5
3	4	事業所		180	8	0	8
3	5	事業所		180	6	1	7
3	23	一般		180	6	4	10
27回				4860	173	83	256

### 講習会の内訳

受講者累計	男性	173人	女性	83人	合計	256人
一回の平均受講者	男性	6.4人	女性	3.1人	平均	9.5人

# 予防関係

## 防火対象物数、立入検査状況

種別		防火対象物数 (150㎡以上)				立 入 検 査	消防用設備又は特殊消 防用設備等設置検査			
		合 計	地 上 5 階 未 満	地 上 5 階 以 上	地 下 1 階		検 査 要 す る 対 象 物	検 査 届 出 対 象 物	検 査 済	
項目										
合 計		778	766	12	23	71	905	56	56	
1	イ	映 画 館	1	1			1			
	ロ	集 会 場	14	14			22			
2	ロ	遊 技 場	3	3		2	3			
	ニ	カラオケボックス	0							
3	ロ	飲 食 店	15	15		1	24			
4		百貨店・店舗	25	25		3	34	2	2	
5	イ	旅館・ホテル	17	16	1	35	50	35	35	
	ロ	共同住宅	173	170	3	1	182	1	1	
6	イ	病院・診療所	11	11		2	14			
	ロ	福祉施設等	7	7			7	2	2	
	ハ	保育園・老人デイサービス等	9	9		1	12	3	3	
	ニ	幼稚園	4	4			4			
7		学校(小・中・高・大)	48	44	4	1	1	48	2	2
8		図書館	2	2			2			
9	ロ	公衆浴場	1	1		1	1			
10		駅舎	2	2			2			
11		神社・寺院	10	10		1	11			
12	イ	工場・作業場	210	208	2	4	11	221	8	8
13	イ	自動車車庫	10	10			1	11		
13	ロ	特殊格納庫	0							
14		倉庫	36	36		1	48			
15		前項に該当しない事業所	97	96	1	7	9	125	2	2
16	イ	複合用途防火対象物	64	63	1	5	3	64	1	1
	ロ	イ、以外の複合用途	19	19				19		

## 消 防 用 設 備 等 設 置 状 況

項 目		設 備 別	自 動 火 災 報 知 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	水 噴 霧 消 火 設 備 等	非 常 警 報 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	動 力 消 防 ポ ンプ	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管
			合 計	328	11	94	19	7	48	4	79	305	3	1
1	イ	映 画 館						1						
	ロ	集 会 場	5					3			19			
2	ロ	遊 技 場	3								3			
	ニ	カラオケボックス												
3	ロ	飲 食 店	7		2			3		2	22			
4		百貨店・店舗	12		3			8			31			
5	イ	旅館・ホテル	44		2	5		5		2	15			
	ロ	共同住宅	11			7		6		37	3			
6	イ	病院・診療所	7	2	1	1		1			14			
	ロ	福祉施設等	7	6						1	7			
	ハ	保育園・老人デイサービス等	5		2			1		1	9			
	ニ	幼稚園	3		1	1					4			
7		学校(小・中・高・大)	38		27		2			4	28			1
8		図書館	1			1		1			1			
9	ロ	公衆浴場	1		1						1			
11		神社・寺院									3			
12	イ	工場・作業場	102		38	2		1	2	3	43	3		2
13	イ	自動車車庫	3				3				1			
13	ロ	特殊格納庫												
14		倉庫	9		1	1			1		4			
15		前項に該当しない事業所	42		6	1	2	5		4	38			
16	イ	複合用途防火対象物	26	3	10			12	1	21	58		1	1
	ロ	イ、以外の複合用途	2					1		4	1			

## 消火・避難訓練実施状況

種 別 項目			訓練実施対象物数			
			消火訓練		避難訓練	
			1回 実施	2回以上 実施	1回 実施	2回以上 実施
合 計			8	6	5	12
1	イ	映 画 館				
	ロ	集 会 場				
2	ロ	遊 技 場				
	ニ	カラオケボックス				
3	ロ	飲 食 店	1		1	
4		百 貨 店 ・ 店 舗	2			1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	1			1
	ロ	共 同 住 宅				
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	1	1		2
	ロ	福 祉 施 設 等		3		3
	ハ	保 育 園 ・ 老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	1			3
	ニ	幼 稚 園			1	
7		学 校 ( 小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 )				
8		図 書 館				
9	ロ	公 衆 浴 場				
11		神 社 ・ 寺 院				
12	イ	工 場 ・ 作 業 場				
13	イ	自 動 車 車 庫				
13	ロ	特 殊 格 納 庫				
14		倉 庫				
15		前項に該当しない事業所				
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物	2	2	3	2
	ロ	イ、以外の複合用途				

## 防 火 管 理 者 状 況

種 別 項目			防火対象物数		防火管理者 届出済数		消 防 計 画 届出済数	
			甲 種	乙 種	甲 種	乙 種	甲 種	乙 種
合 計			144	38	127	21	127	21
1	イ	映 画 館	1		1		1	
	ロ	集 会 場	8	8	6	1	6	1
2	ロ	遊 技 場	3		3		3	
	ニ	カラオケボックス						
3	ロ	飲 食 店	8	7	7	5	7	5
4		百 貨 店 ・ 店 舗	14	8	12	8	12	8
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	9	6	8	4	8	4
	ロ	共 同 住 宅	3		2		2	
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	4		2		2	
	ロ	福 祉 施 設 等	7		7		7	
	ハ	保 育 園 ・ 老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	5		5		5	
	ニ	幼 稚 園	3		3		3	
7		学 校 ( 小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 )	12		12		12	
8		図 書 館	1	1	1		1	
9	ロ	公 衆 浴 場	1		1		1	
11		神 社 ・ 寺 院	2		2		2	
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	19		19		19	
13	イ	自 動 車 車 庫						
13	ロ	特 殊 格 納 庫						
14		倉 庫						
15		前項に該当しない事業所	9	3	9	2	9	2
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物	35	5	27	1	27	1
	ロ	イ、以外の複合用途						

## 建 築 同 意 状 況

項 目		種 別	同 意					不 同 意				
			合 計	新 築	増 築	改 築	そ の 他	合 計	新 築	増 築	改 築	そ の 他
合 計			14	13	1							
1	イ	映 画 館										
	ロ	集 会 場										
2	ロ	遊 技 場										
	ニ	カラオケボックス										
3	ロ	飲 食 店		1								
4		百 貨 店 ・ 店 舗										
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル										
	ロ	共 同 住 宅		1								
6	イ	病 院 ・ 診 療 所										
	ロ	福 祉 施 設 等		2								
	ハ	保 育 園 ・ 老 人 デ ィ サ ー ビ ス 等										
	ニ	幼 稚 園										
7		学 校 (小 ・ 中 ・ 高 ・ 大)										
8		図 書 館										
9	ロ	公 衆 浴 場										
11		神 社 ・ 寺 院										
12	イ	工 場 ・ 作 業 場		2								
13	イ	自 動 車 車 庫										
13	ロ	特 殊 格 納 庫										
14		倉 庫										
15		前項に該当しない事業所		4								
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物										
	ロ	イ、以外の複合用途										
		長 屋 ・ 住 宅 ・ そ の 他		3	1							



## 数量別危険物（完成検査済証交付）施設状況

製造所等の別 区分	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般	第一種販売	第二種販売
合計	120	5	24	7	2	26		13	2	25	15	1	
5倍以下	64	2	11	1	2	21		13	1	9	3	1	
5倍を超え 10倍以下	23		5	2		4			1	2	9		
10倍を超え 50倍以下	17	3	4	4		1				2	3		
50倍を超え 100倍以下	6		2							4			
100倍を超え 150倍以下	4		2							2			
150倍を超え 200倍以下	1									1			
200倍を超え 1000倍以下	5									5			

## 火薬類許可件数

月別 許可種類	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合計	8				2	3		1			1	1	
譲受許可													
消費許可	6				2	3		1					
譲受消費許可	2										1	1	

## 火薬類の消費許可数量

月別 種類	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
爆薬(kg)													
火薬(kg)													
電気雷管(個)													
工業雷管(個)													
煙火(発)	1009				401	204	200	204					
鋌打銃空包(個)													

## 危険物（完成検査済証交付）施設数及び地区別数

製造所等の別 区分	合計	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般	第一種販売	第二種販売	
平成20年	162	2	20	15	3	32		36	3	29	20	2		
平成21年	157	2	21	15	3	32		30	3	28	21	2		
平成22年	148	3	22	15	3	31		23	3	27	20	1		
平成23年	137	5	20	15	2	28		19	2	25	20	1		
平成24年	138	5	20	15	2	27		20	2	26	20	1		
平成25年	133	5	20	13	2	27		19	2	25	19	1		
平成26年	129	2	20	13	2	30		19	2	25	15	1		
平成27年	127	2	20	13	2	29		18	2	25	15	1		
平成28年	122	3	23	7	2	29		15	2	25	15	1		
平成29年	124	4	24	7	2	28		16	2	25	15	1		
平成30年	120	5	24	7	2	26		13	2	25	15	1		
地区別	大目	8		1	1	3				3				
	甲東	6				4				2				
	巖	21	1	7	1	6				1	5			
	大鶴	4		3		1								
	島田	8				2		1		2	3			
	上野原	49	4	10	3	1	4		9	2	9	6	1	
	桐原	8		1			2		2		3			
	西原													
	秋山	16		3	2		4		1		5	1		

## 危険物施設各種事務処理状況

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般	第一種販売	第二種販売
合計		55	9	3			11		9		10	13		
設置許可														
変更許可		5	2								2	1		
完成検査		6	2								2	2		
完成検査済証書 再交付申請														
仮使用承認		5	2								2	1		
仮貯蔵仮取扱承認		1										1		
資料提出		13	1	2			2		4		3	1		
点検報告		11					5		3			3		
保安監督者選解任		7	1				2				1	3		
在庫管理の届出														
種類数量変更届出		1		1										
予防規定制定・変更認可		1	1											
廃止届出		5					2		2			1		

## 危険物施設立入検査状況

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般	第一種販売	第二種販売
検査施設数		14	1	3			2		1		6	1		
延回数		18	1	7			2		1		6	1		

# 上野原市危険物安全協会

危険物に起因する災害の未然防止、危険物の安全管理及び防火思想の普及促進を目的に設立され、現在56の事業所が加入しています。

## 事業の概要

1	会員相互の連絡協調に関すること。
2	危険物関係諸法令の研究に関すること。
3	危険物関係施設の改善促進に関すること。
4	危険物の貯蔵取扱等に関する調査研究及び啓発広報に関すること。
5	火災予防に関すること。
6	危険物関係施設等の視察研修に関すること。
7	関係図書 の 刊行及び購入配布に関すること。
8	火災予防及び消防功労者、優良施設、会員等の表彰に関すること。
9	その他本会の目的達成のため必要な事項。

## 危険物安全週間の啓発運動



春・秋季火災予防運動の啓発運動



# 警防關係(署)

## 年 別 火 災 状 況

区 分		年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
火災件数	種 別	建 物	2	1	3	5	4
		林 野	2	1	0	1	0
		車 両	1	2	2	2	2
		その他	8	5	2	3	1
	合 計		13	9	7	11	7
	前 年 比		13	△4	△2	4	△4
焼損棟数	程 度	全 焼	1	0	3	7	2
		半 焼	0	0	0	0	0
		部分焼	1	1	3	7	2
		ぼ や	0	0	1	1	2
	合 計		2	1	7	15	6
	前 年 比		2	△1	6	8	△9
焼損面積	建物床面積(m <sup>2</sup> )		160.0	46.6	307.1	659.0	266.0
	前 年 比		160.0	△113.4	260.5	351.9	△393
	林野(a)		2.0	0.0	0.0	1255.0	0.0
	前 年 比		2.0	△2.0	0.0	1255.0	△1255
死 者		1	2	0	0	0	
負 傷 者		0	2	2	3	2	
損害額(千円)		201,275	10,452	5,025	44,311	12,678	
損害額前年比		201,275	△190,823	△5,427	39,286	△31633	

## 月 別 火 災 状 況 総 括

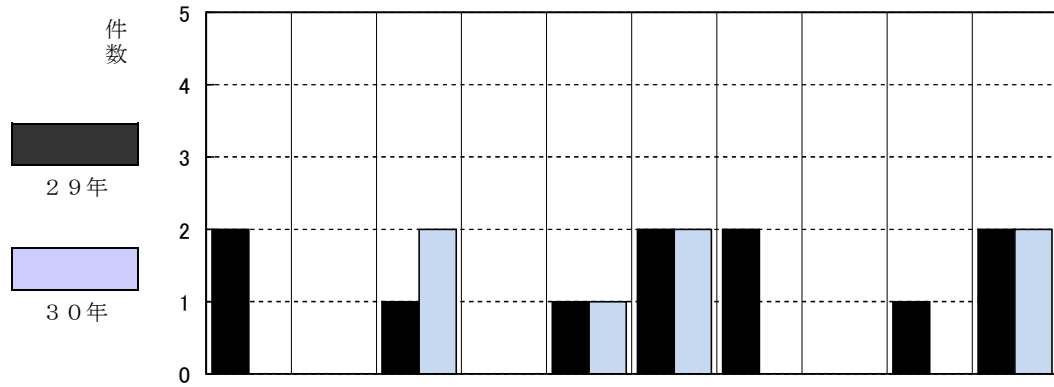
区分 月別	出 火 件 数					焼 損 棟 数	り 災 世 帯	焼 損 面 積					死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)				
	計	建物	林野	車両	その他			建物 (㎡)		林野 (a)	車両 (台)	その他 (㎡)			計	建 物	林 野	車 両	その他
								床面積	表面積										
	合計	7	4	0	2			1	6	2	266	8			0	18	0.0	0	2
1	1	1				2	1	68	0	0	0	0	0	1	4,262	4,262	0	0	0
2	1			1				0	0	0	17		0	0	531	0	0	531	
3	2	1		1		2	1	198	0	0	1	0	0	1	7,389	7,269	0	120	0
4																			
5	2	2				2	0	0	8	0	0	0	0	0	496	496	0	0	0
6																			
7																			
8																			
9																			
10	1				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11																			
12																			



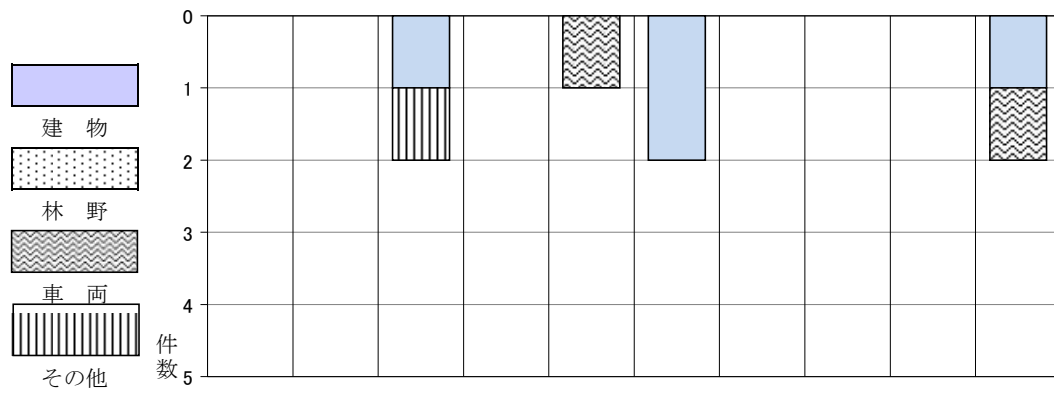
## 建 物 火 災 件 数

項 目 月 別	件 数	損 害 額 (千円)				焼 損 棟 数								り 災 世 帯 数			り 災 者 数	焼 損 面 積 ( $m^2$ )			
		計	建 物	収 容 物	そ の 他	計	火 元 棟				延 焼 棟				計	全 損		半 損	小 損	床	表
							全	半	部	ぼ	全	半	部	ぼ							
合 計	4	12,027	6,480	5,541	6	6	2		2					2	2			2	4	266	8
1	1	4,262	2,523	1,735	4	2	1							1	1			1	3	68	0
2																					
3	1	7,269	3,618	3,651		2	1						1	1				1	1	198	0
4																					
5	2	496	339	155	2	2			2					0				0	0	0	8
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					

## 地区別出火件数

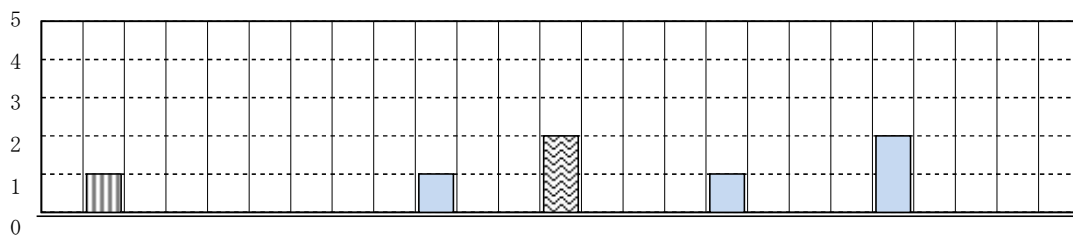


人口	859	942	5,694	899	1,981	9,713	932	556	1,619	
世帯数	434	368	2,344	382	860	4,244	415	283	607	
地区	大目	甲東	巖	大鶴	島田	上野原	桐原	西原	秋山	中央道



※ 人口（住民基本台帳）・世帯数は、平成31年4月1日現在

## 時間別出火件数



件数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	明

建物
  林野
  車両
  その他

### 火災覚知別出火件数

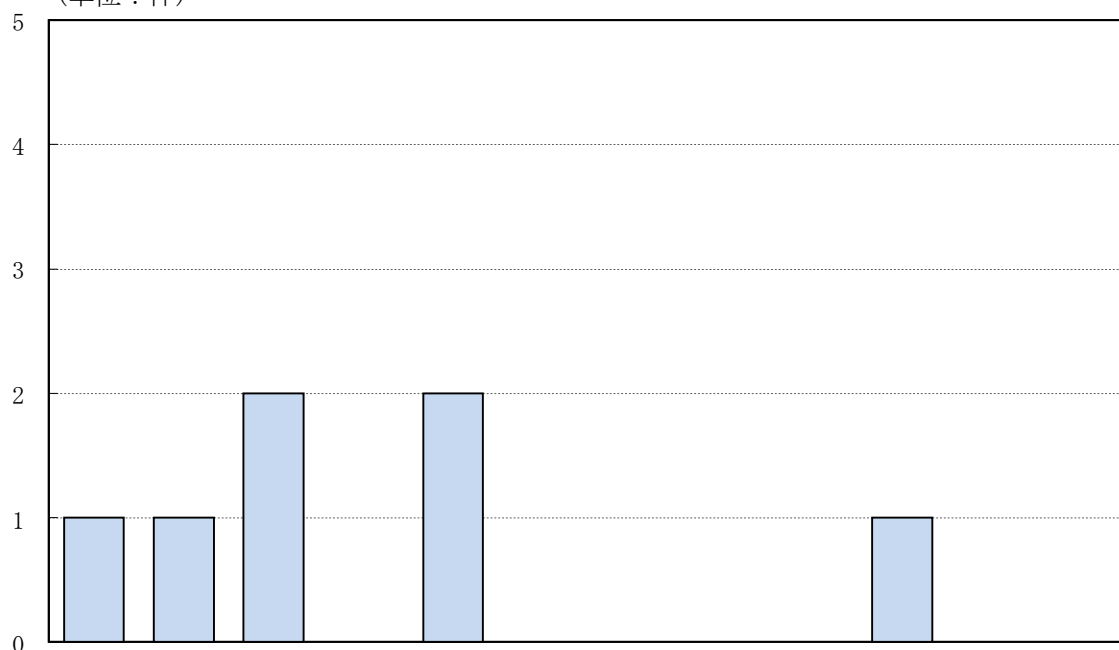
火災種別 覚知別	合計	建物	林野	車両	その他	管外出場 誤報等
合計	9	4		2	1	2
火災報知専用電話 (加入電話から)						
火災報知専用電話 (携帯電話から)	7	4		2	1	
加入電話 (加入電話から)	1					1
加入電話 (携帯電話から)						
警察電話						
駆け付け通報						
事後聞知						
その他	1					1

### 原因別出火件数

原因	件数	原因	件数	原因	件数
たばこ		煙突・煙道		溶接機・切断機	
こんろ	1	排気管	1	ローソク	1
大型こんろ	1	ブレーキライニング		車両と路面との火花	
空気圧縮機 (コンプレッサー)	1	モーター		取灰	
風呂かまど		送電線	1	火入れ	
炉		落雷		放火	
焼却炉		内燃機関		放火の疑い	
ストーブ		火あそび		その他	
こたつ		マッチ・ライター		不明	1
ポイラー		たき火		合計	7

## 月別火災件数

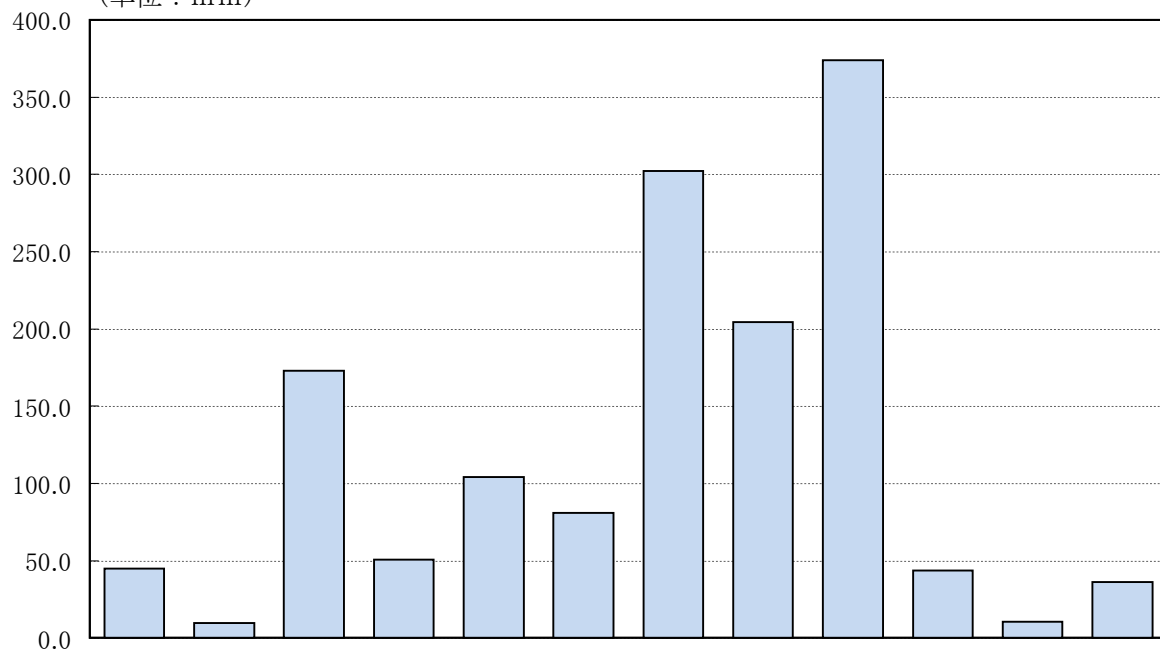
(単位：件)



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	1	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0

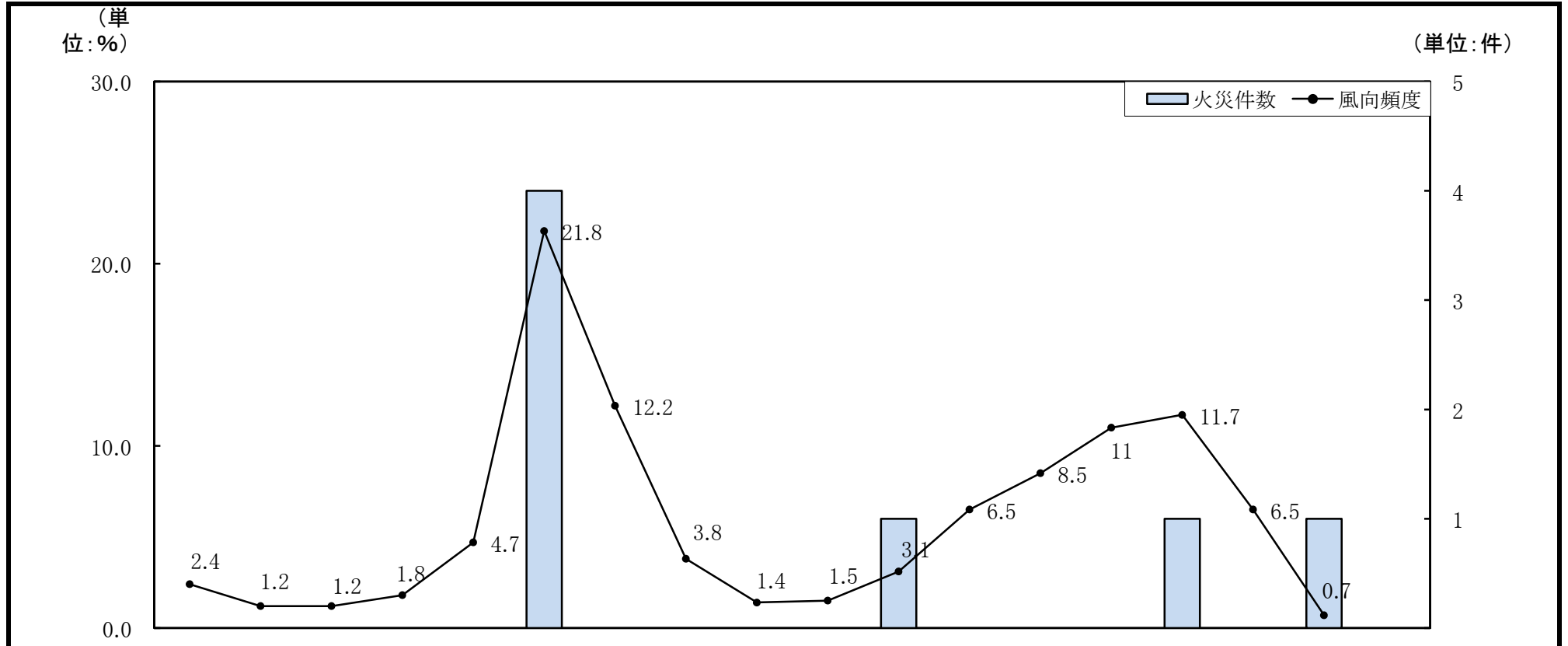
## 月別降水量

(単位：mm)

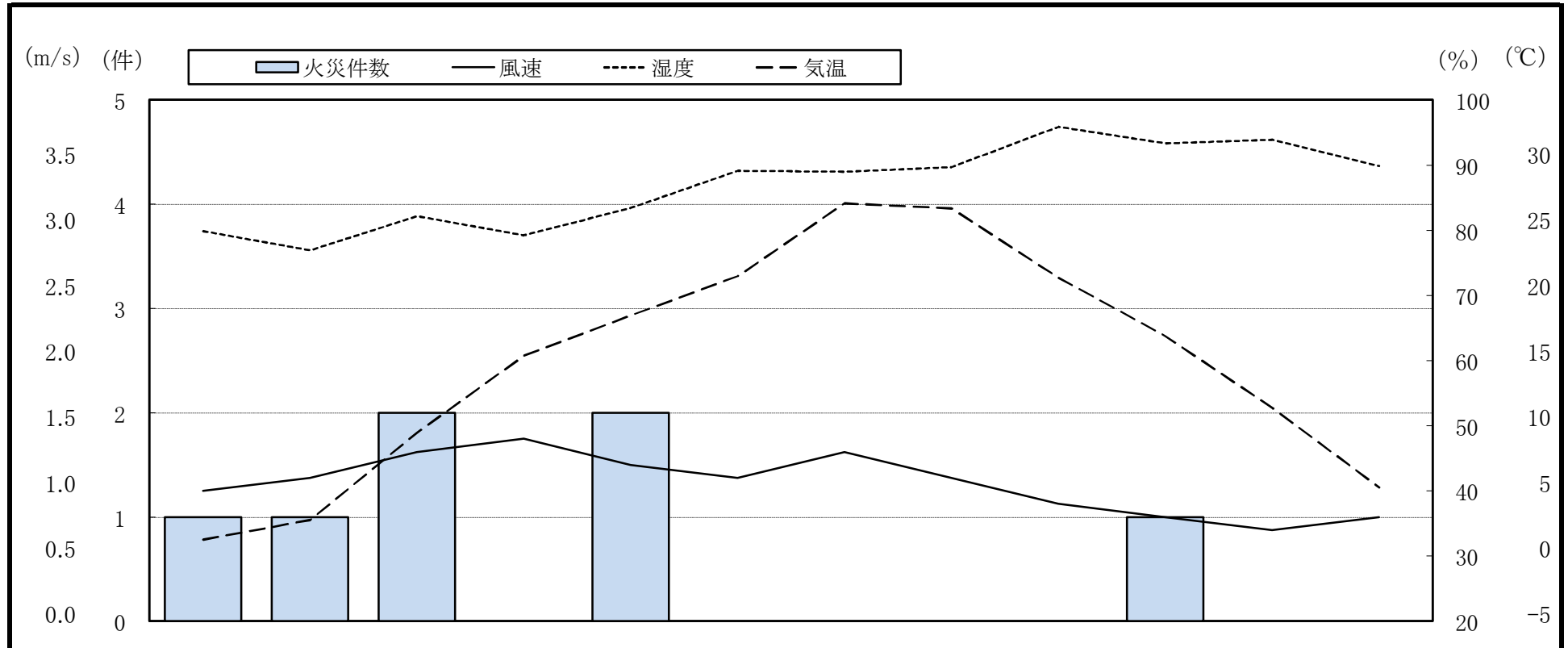


月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
降水量	45.0	9.5	173.0	50.5	104.0	81.0	302.0	204.5	374.0	43.5	10.5	36.0	1433.5

# 風 向 と 火 災 件 数



# 火災件数と気象状況

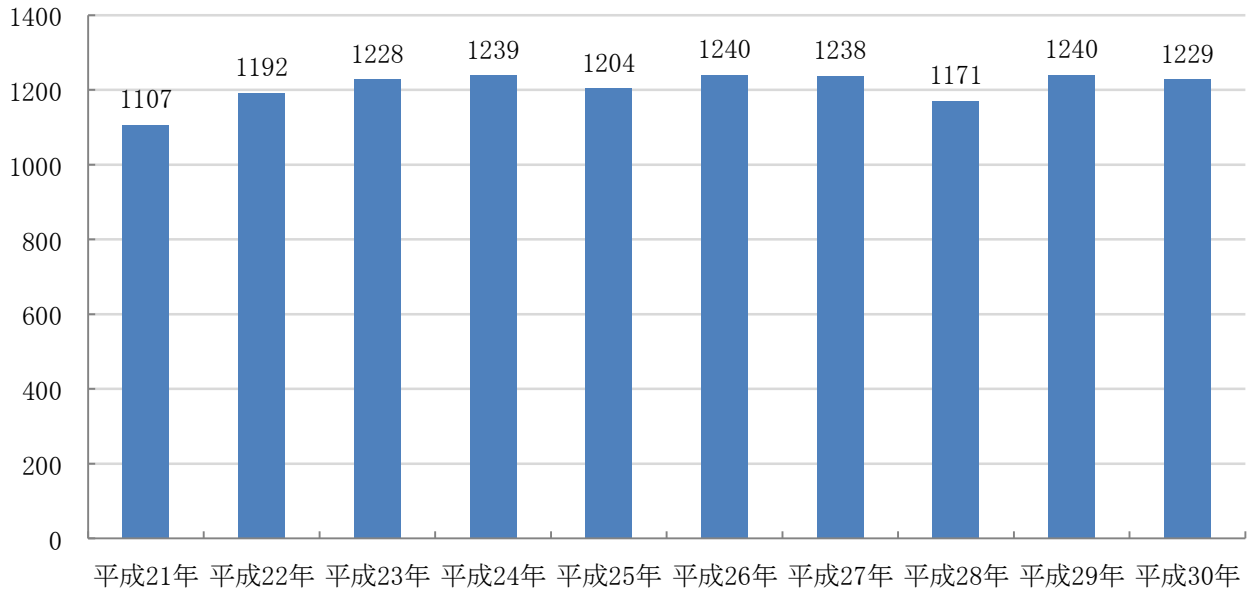


月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	平均
火災件数	1	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0.58
湿度	79.9	77.0	82.2	79.3	83.5	89.2	89.0	89.7	95.9	93.4	93.9	89.9	86.9
気温	1.3	2.8	9.5	15.4	18.5	21.5	27.1	26.7	21.4	16.9	11.4	5.3	14.8
風速	1.0	1.1	1.3	1.4	1.2	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	1.1
最多風向	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	西南西	東南東

# 救急業務

## ① 救急出場件数の推移 10年分

平成30年の救急出場件数は、1,229件(前年より11件減少)でした。



種別 年	合計	救急事故種別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
平成21年	1107	1			146	10	5	158	1	14	701	67			4
平成22年	1192	1		3	123	12	10	190	7	16	768	54			8
平成23年	1228	2			147	12	7	185	4	16	785	64			6
平成24年	1239	1		1	116	12	11	189	5	15	817	71			1
平成25年	1204	1		1	104	14	10	194	7	7	784	73			9
平成26年	1240	1			113	10	7	204	3	10	805	76	1		10
平成27年	1238	1			102	16	9	223	6	17	774	90			
平成28年	1171	2			119	14	16	205	4	7	719	84	1		
平成29年	1240	2			128	17	16	212	4	12	752	94	2		1
平成30年	1229	2		1	102	25	16	227	1	8	763	83			1

火災：火災に起因して生じた事故

自然災害：自然現象に起因する災害事故

水難事故：水泳中(運動競技によるものは除く)の溺者又は水中転落事故

交通事故：全ての交通機関相互及び単独の事故若しくは歩行者が交通機関に接触等をした事故

労働災害：就労中に発生した事故

運動競技：運動競技中に発生した事故

一般負傷：他に分類されない不慮の事故

加害：故意に他人によって傷害等を加えられた事故

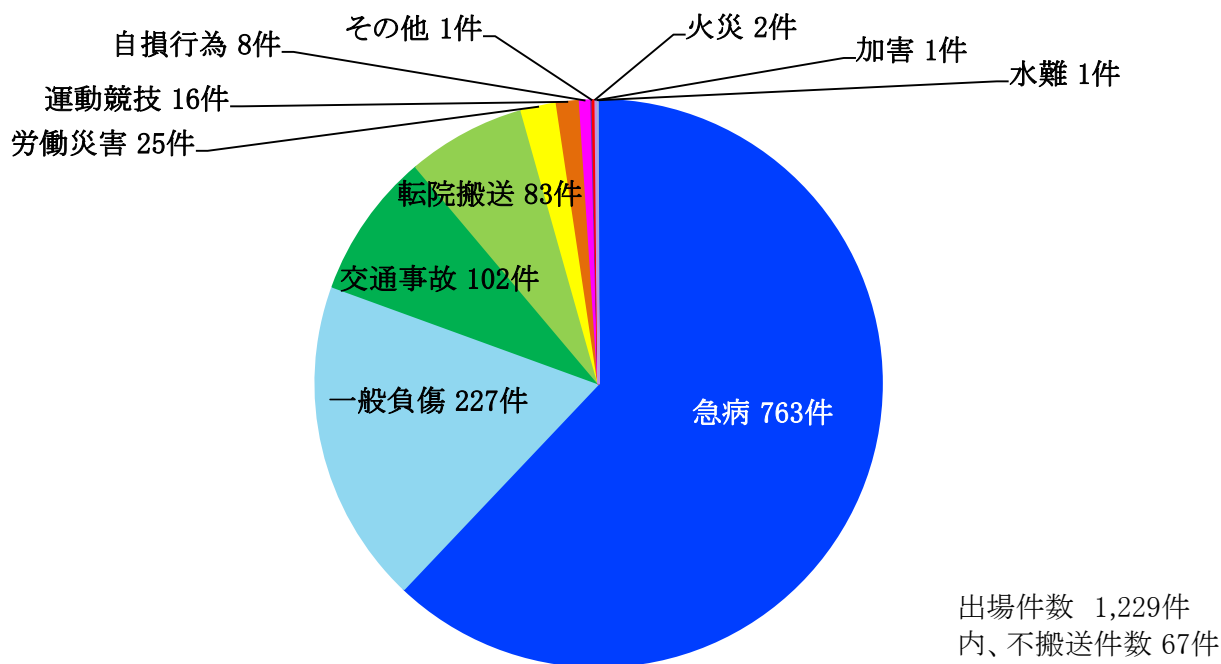
自損行為：故意に自分自身に傷害を加えた事故

急病：疾病によるもので、救急業務として行ったもの

その他：転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材搬送、その他

## ② 救急出場区分内訳

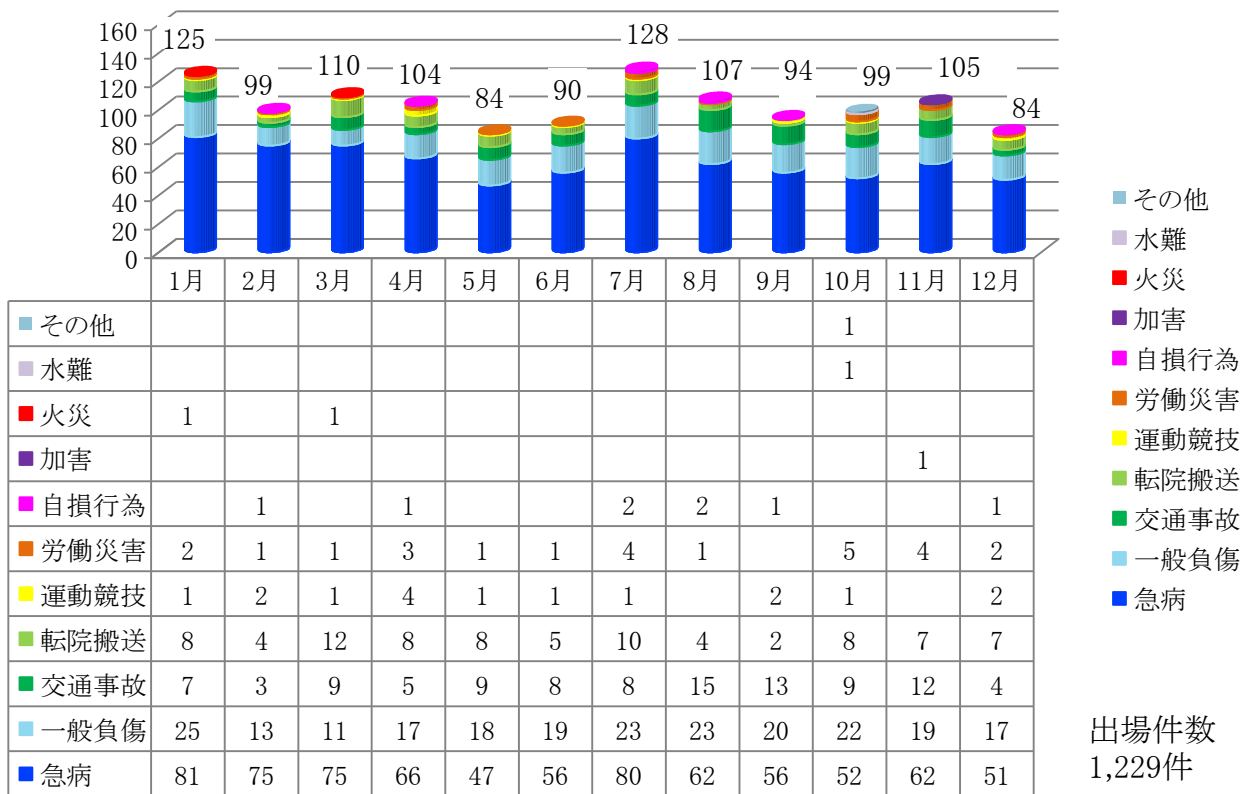
救急出場の種別の内訳を円グラフで示したのになります。



■急病 ■一般負傷 ■交通事故 ■転院搬送 ■労働災害 ■運動競技 ■自損行為 ■その他 ■火災 ■加害 ■水難

## ③ 月別救急出場件数

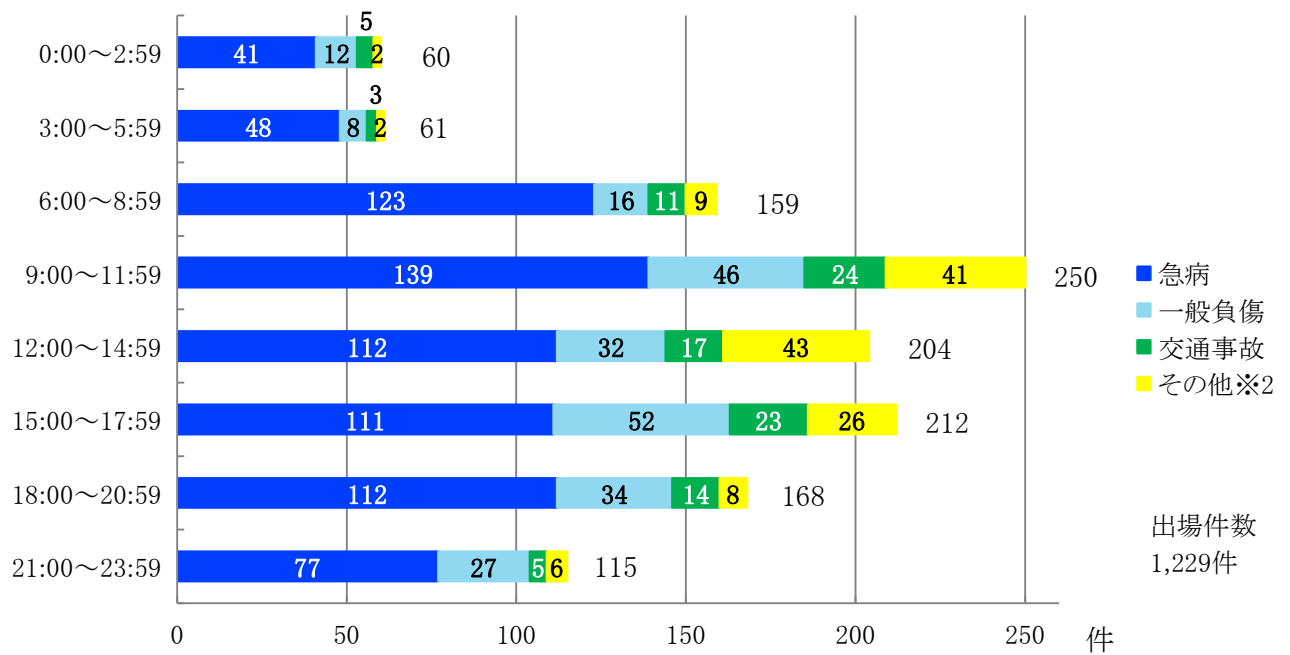
月別の出場状況を棒グラフで示したのになります。





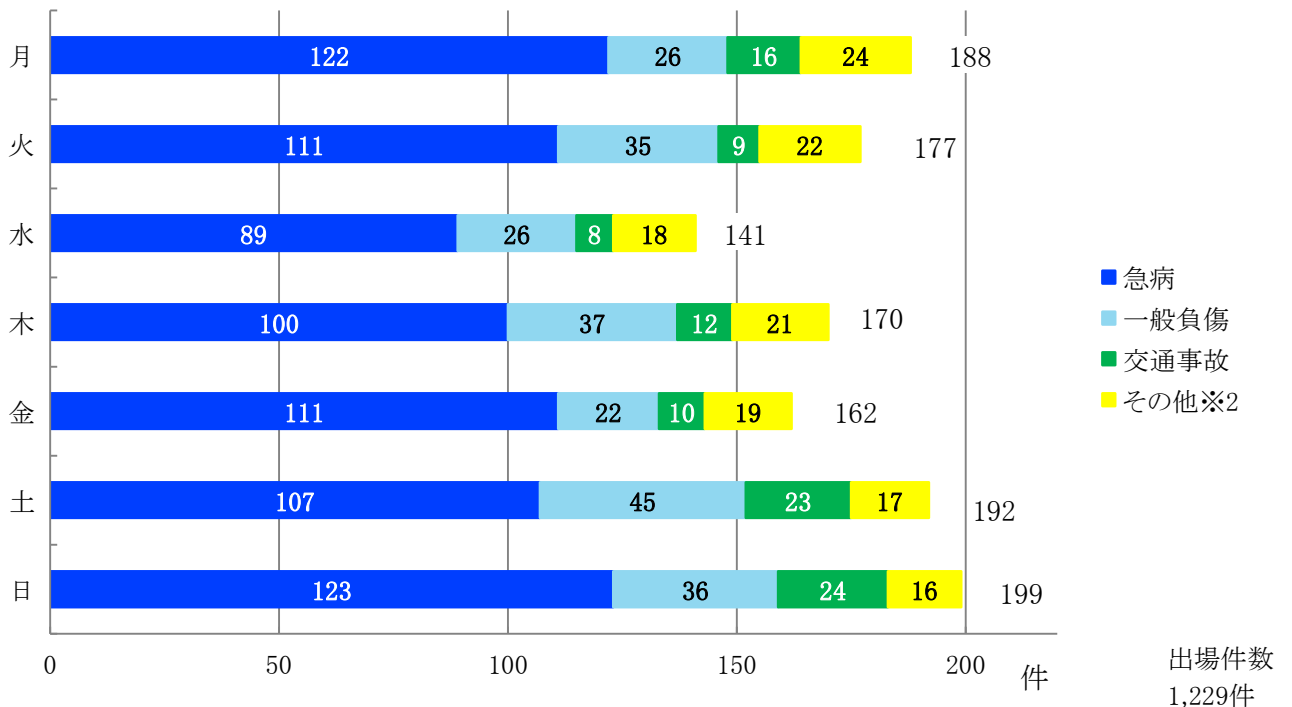
#### ④ 時間別救急出場状況

時間別の救急要請件数を棒グラフで示したのになります。



#### ⑤ 曜日別救急出場状況

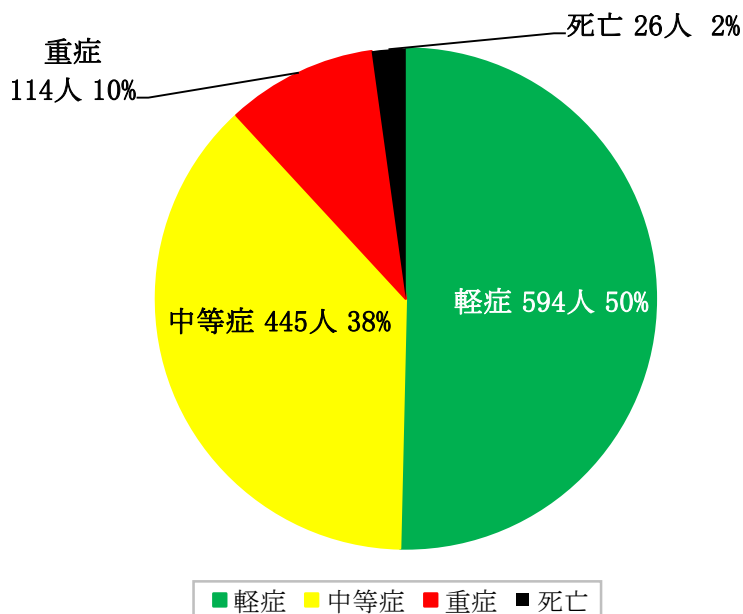
曜日別の救急要請件数を棒グラフで示したのになります。



※2…火災、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送、その他を含んだもの

## ⑥ 救急搬送者の傷病程度割合

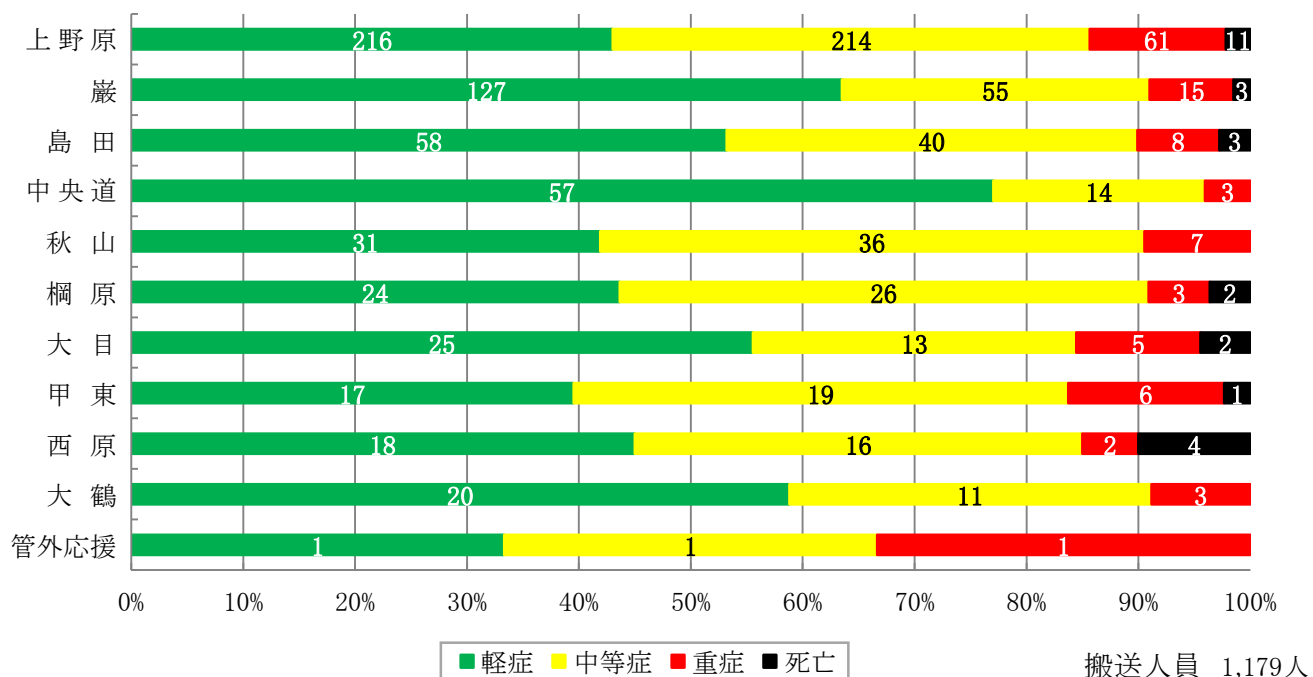
軽症、中等症、重症、死亡の割合を円グラフにしたものになります。



※死亡・・・初診時において死亡が確認されたもの  
 重症・・・傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの  
 中等症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの  
 軽症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの

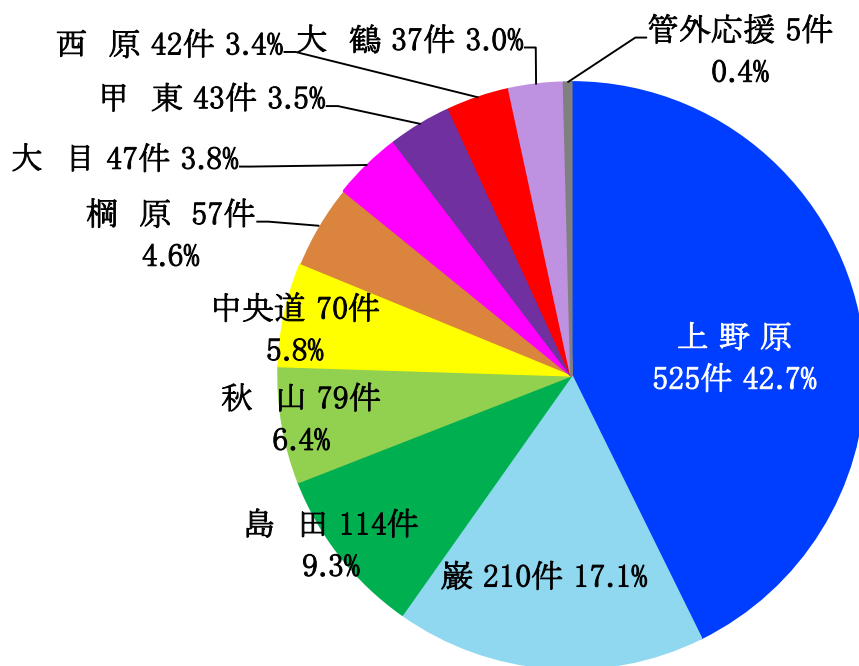
## ⑦ 地区ごとの傷病程度割合

各地区ごとの傷病程度の割合を比で表したものになります。



### ⑧ 地区別救急出場状況

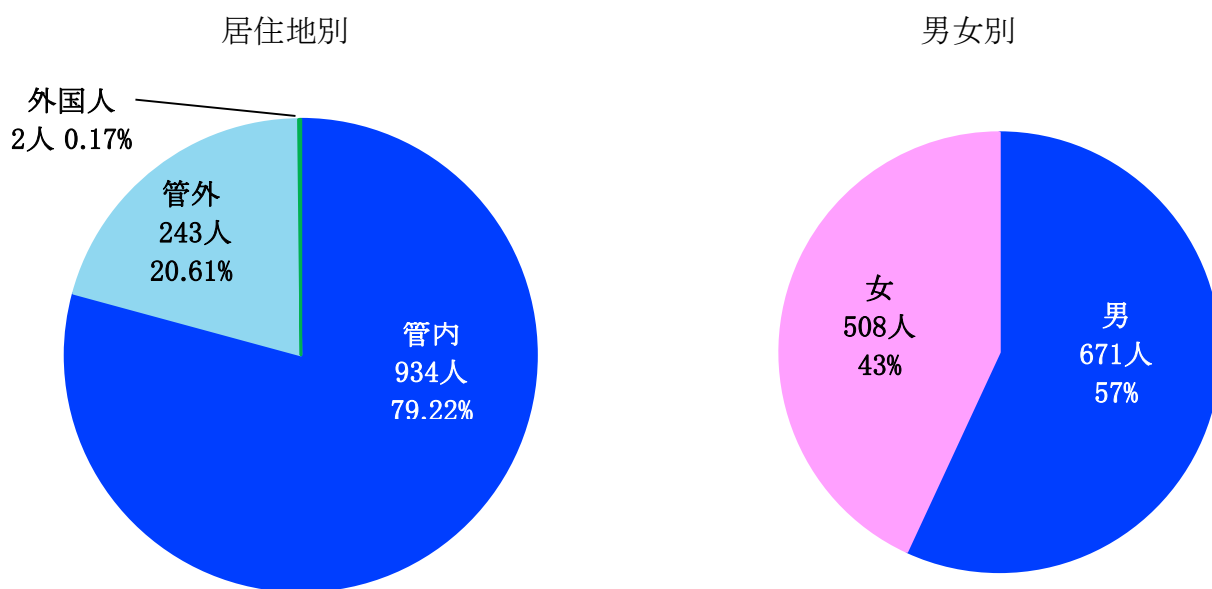
地区別及び中央道、管外区域の出場割合を円グラフで示したものになります。



出場件数 1,229件  
内、不搬送数 67件

### ⑨ 居住地別、男女別救急搬送状況

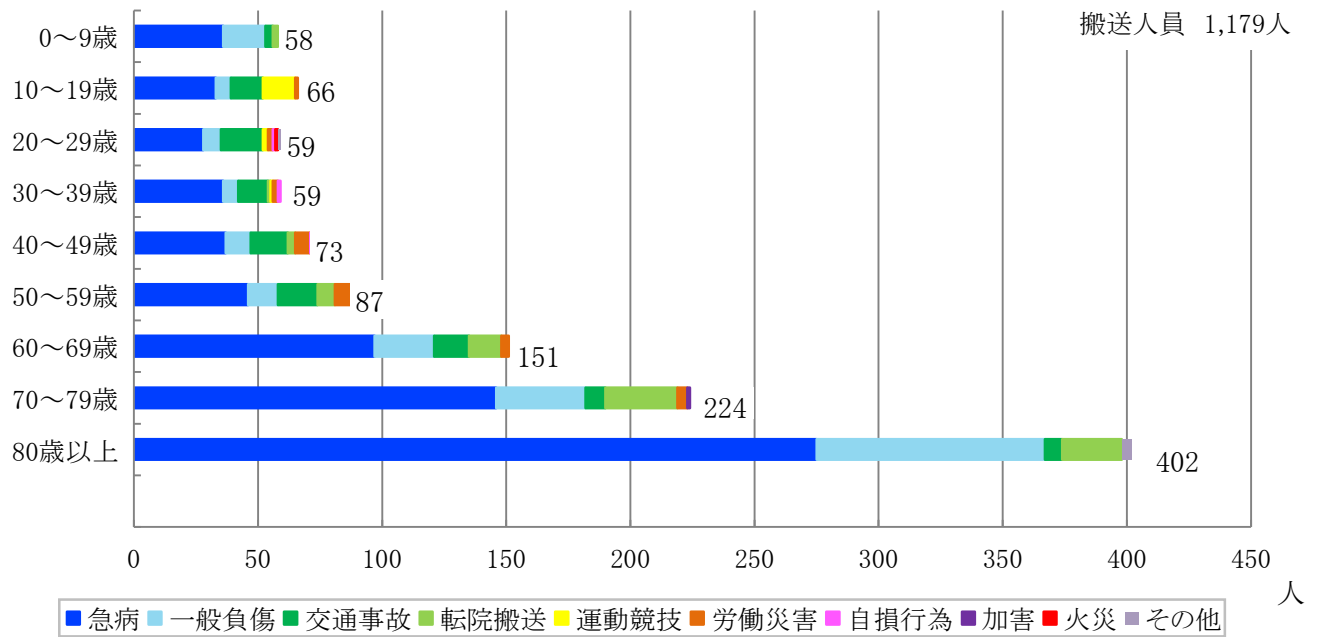
居住地別及び男女別の搬送割合を円グラフで示したものになります。



搬送人員 1,179人

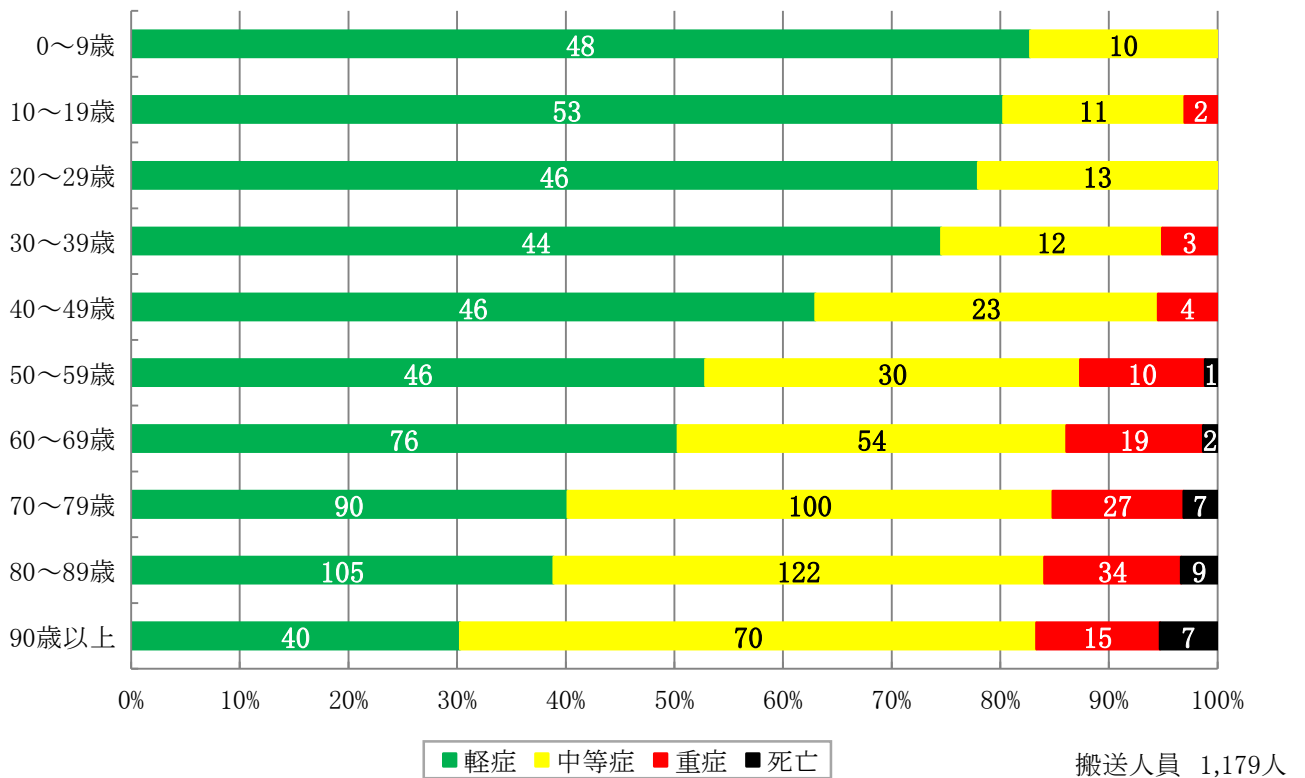
## ⑩ 年齢別搬送状況

年齢別搬送状況を棒グラフで示したのになります。



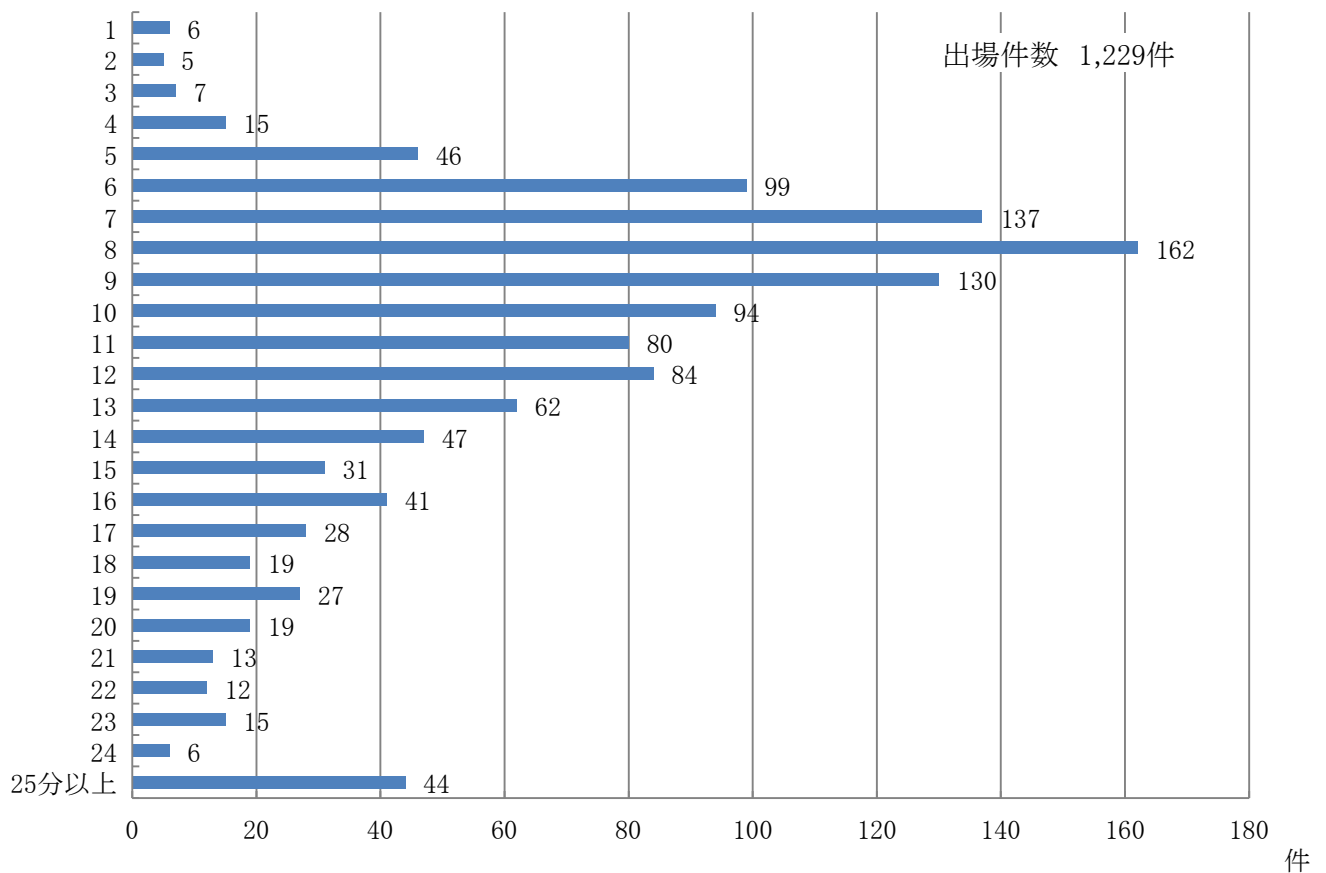
## ⑪ 年齢別の傷病程度割合

年齢別の傷病程度を比で示したのになります。

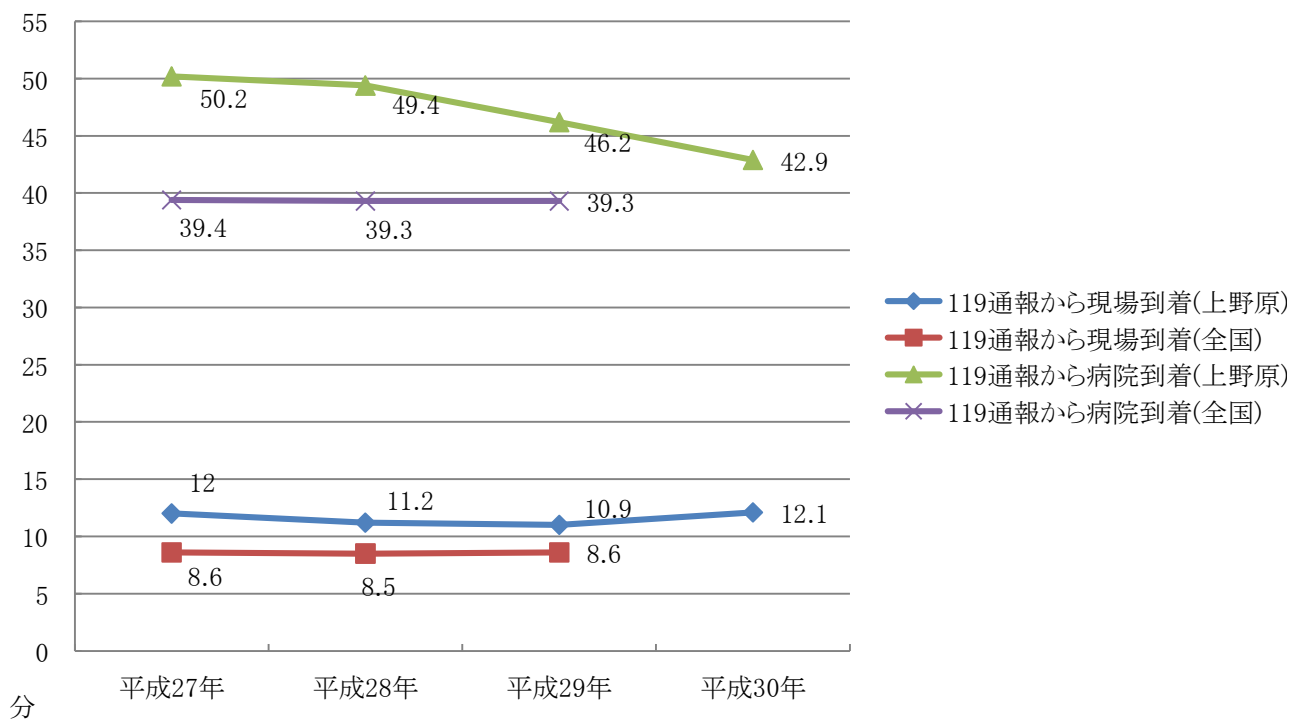


## ⑫ 救急要請から救急車現場到着までの時間

119番通報をしてから救急車が要請場所に来るまでの時間をグラフにしてあらわしたものです。

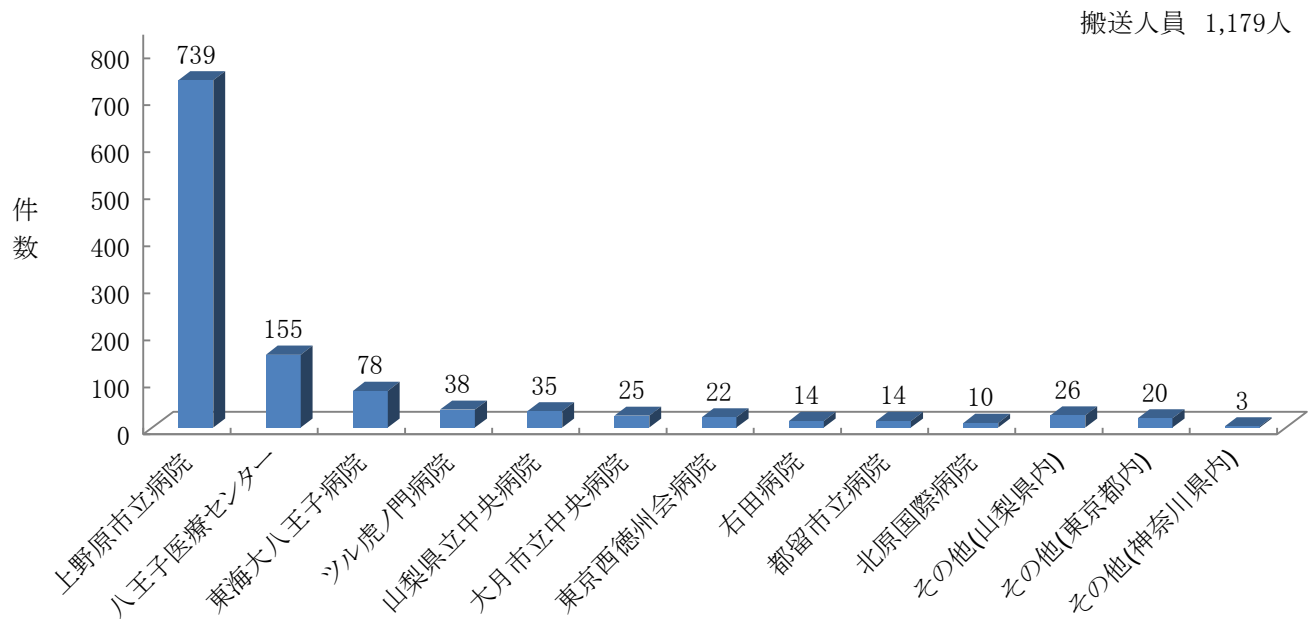


119番通報から現場到着及び病院到着までの時間を全国平均と比較したグラフになります。



### ⑬ 医療機関別収容状況

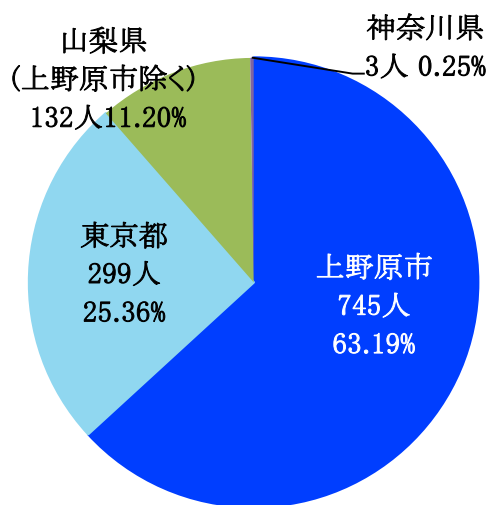
救急搬送を行った病院の件数を棒グラフで示したのになります。



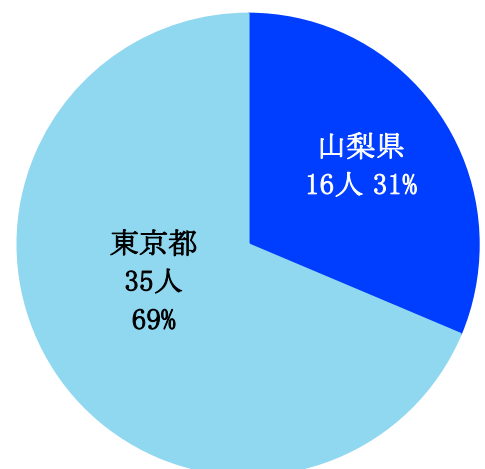
### 山梨県、東京都、神奈川県への搬送割合

山梨県、東京都、神奈川県に搬送したそれぞれの件数を円グラフで示したのになります。  
全年齢のグラフと0歳から6歳までのグラフを示します。

平成30年に収容した都道府県別の割合  
※0～104歳までの収容割合(計1,179人)



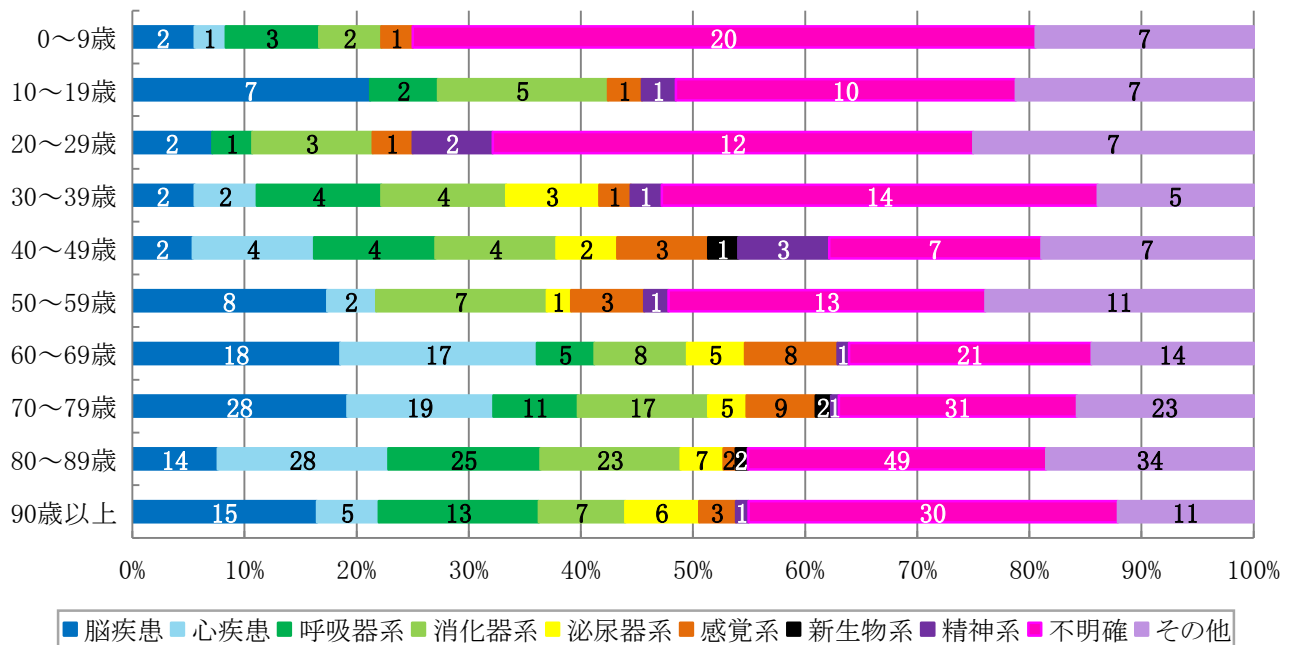
平成30年に収容した都道府県別の割合  
※0～6歳までの収容割合(計51人)



## ⑭ 急病の疾病別分類

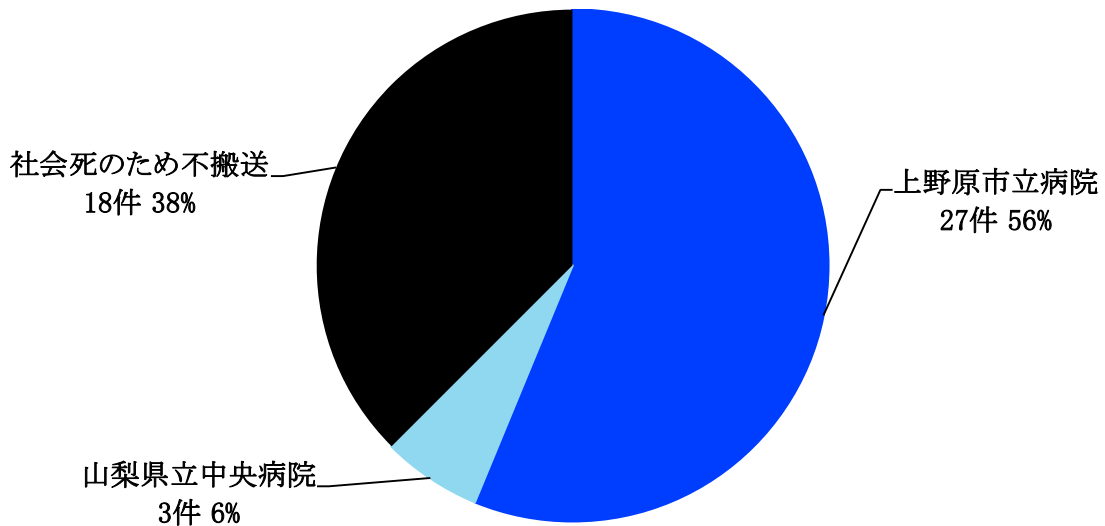
救急搬送した傷病者(急病事案のみ)の疾病分類を比で示したのになります。

急病 搬送人員 734人



## ⑮ 心肺停止患者搬送先病院および不搬送(社会死)の割合

心肺停止患者の搬送先病院の内訳と社会死で救急搬送に至らなかった割合を示したのになります。



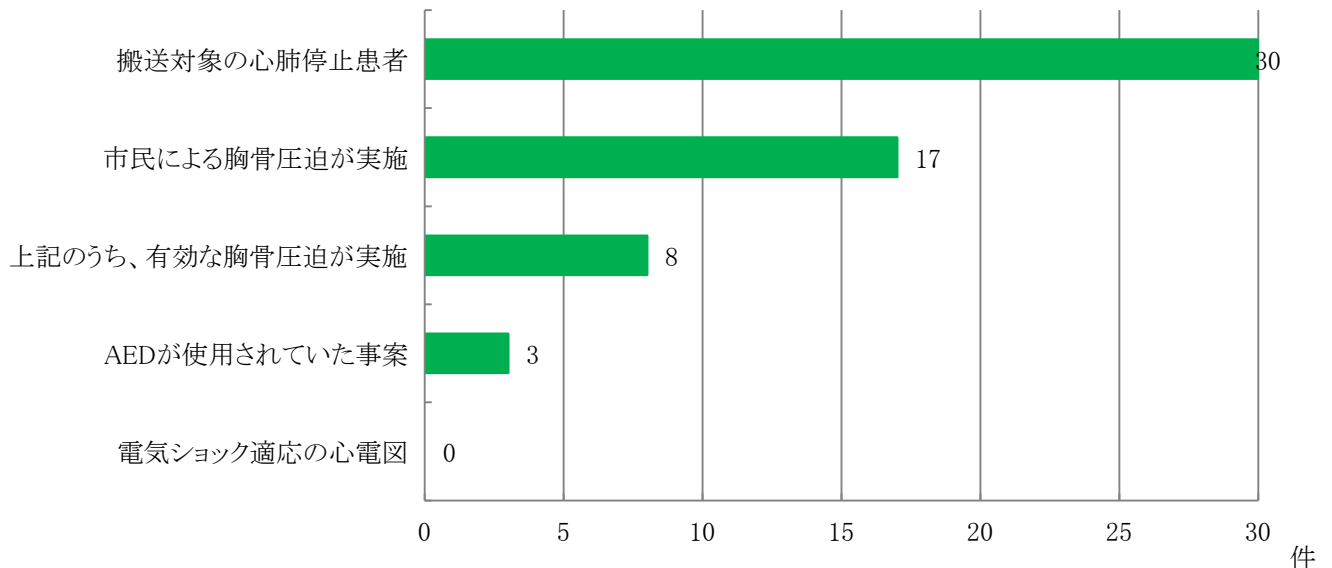
※ 救急業務において傷病者が明らかに死亡している場合の判断基準

- 1.意識レベルが300である(痛み刺激に反応しない)
- 2.呼吸がない
- 3.総頸動脈で脈拍が触知できない
- 4.瞳孔の散大が認められ、対光反射が全くないこと
- 5.体温が感じられず、冷感が認められること
- 6.死後硬直又は死斑が認められること

以上6項目すべてを認めた場合不搬送とします。

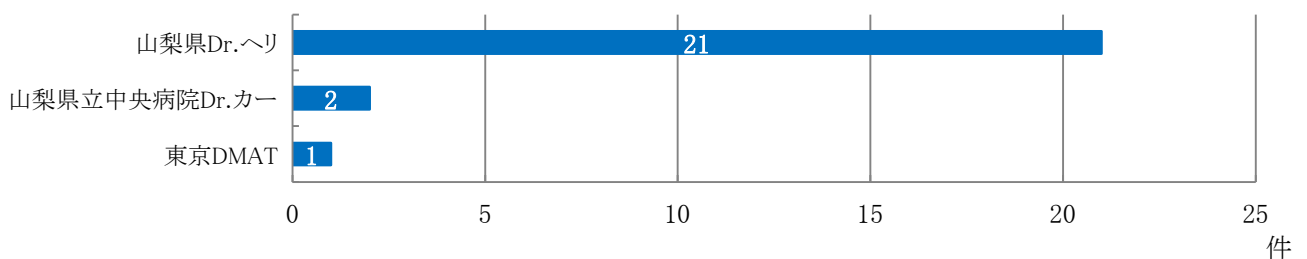
## ⑯ 一般市民による応急手当(心肺停止患者への手当のみ)の状況

平成30年中の一般市民の方が行った心肺蘇生処置の内訳です。救急隊が搬送した心肺停止患者は、30人で、その内17人の方が市民又は家族、施設職員による胸骨圧迫が実施されている状況でした。

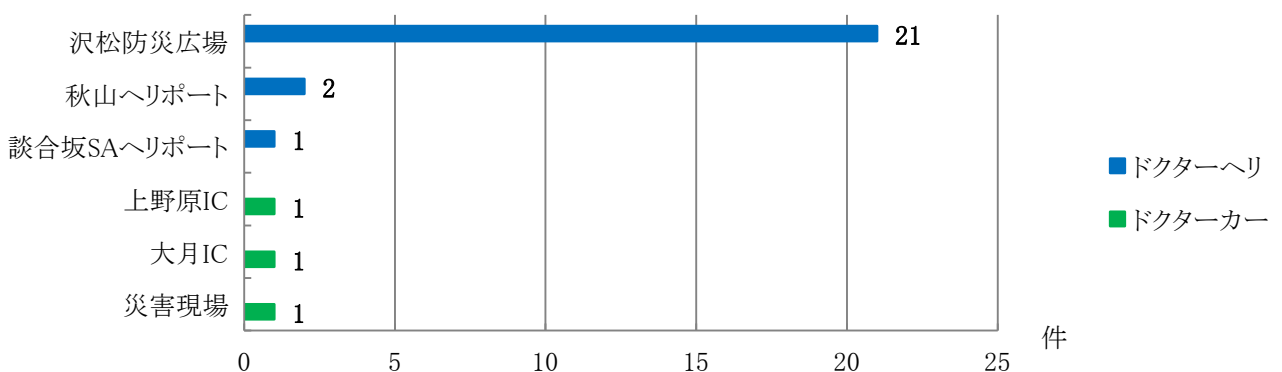


## ⑰ ドクターヘリ・ドクターカー

救急車要請時や救急隊接触後に、傷病者の重症度・緊急度が高いと判断した救急事案は、ドクターヘリ又はドクターカーを要請する場合があります。



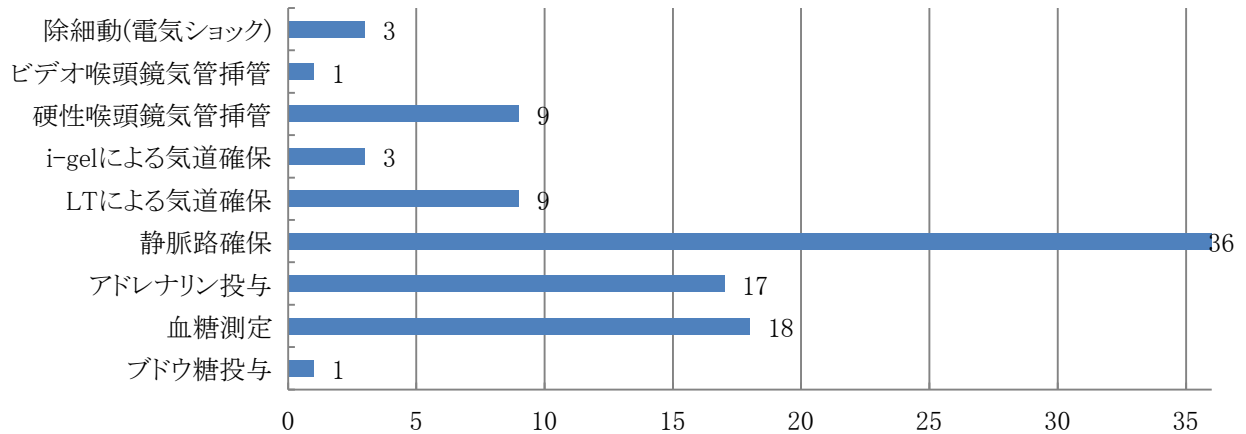
ドクターヘリ又はドクターカーを要請すると、救急車はそれらに引き継ぐために、ヘリの場合はヘリポート、ドクターカーの場合は高速道路のインターチェンジ等で医師に引き継ぎます。





## ⑱ 救急救命士が実施した処置数

救急出場した救急救命士が下記の処置が必要だと判断した場合、医師の指示のもと、処置を実施する場合があります。平成30年中に実施した処置の数をグラフで示します。



回

- ※ 除細動…ポンプ機能を失った心臓に対し、自動体外式除細動器を用い電気ショックを与え心室細動を取り除く行為  
除細動(電気ショック)は、AEDの指示に従って市民の方も実施できる行為です
- ※ ビデオ挿管…医師の指示のもとエアウェイスコープという器具を用い、モニターを見ながら、気管内に気道確保の為チューブを入れる行為
- ※ 硬性喉頭鏡挿管…医師の指示のもと喉頭鏡という器具を用い、気管内に気道確保の為、チューブを入れる行為
- ※ i-gel、LT…医師の指示のもと、左記の器具を下咽頭に入れ、気道確保をするもの
- ※ 静脈路確保…医師の指示のもと、心肺停止患者及びショックの患者に対し、前者は薬剤投与、後者はショックからの離脱のため留置針を用い点滴を行う行為
- ※ アドレナリン投与…医師の指示のもと、静脈路確保ができていない心肺停止患者に対し、強心剤を投与する行為
- ※ 血糖測定…低血糖が疑われる患者に対し、少量の血液を取り、血糖値を測定する行為
- ※ ブドウ糖投与…血糖値が低値であった患者に対し、医師の指示のもとブドウ糖溶液を投与する行為

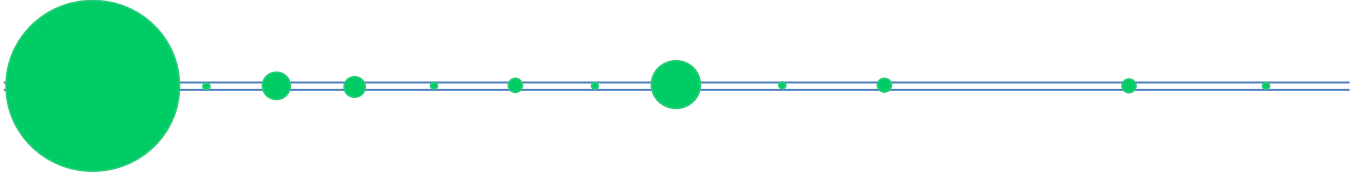


## ⑱ 中央道救急出場状況

中央自動車道のサービスエリア、パーキングエリア、本線上、料金所等へのお出場の状況を円グラフで示したのになります。円グラフが大きいほど、お出場の多かった場所になります。

上り線

談合坂SA 57kp 56kp 55kp 54kp 53kp 52kp 51kp 上野原IC 49kp 48kp 47kp 藤野PA 相模湖IC



下り線

58kp 57kp 談合坂SA 55kp 54kp 53kp 52kp 51kp 上野原IC



## 中央道救急出場分類

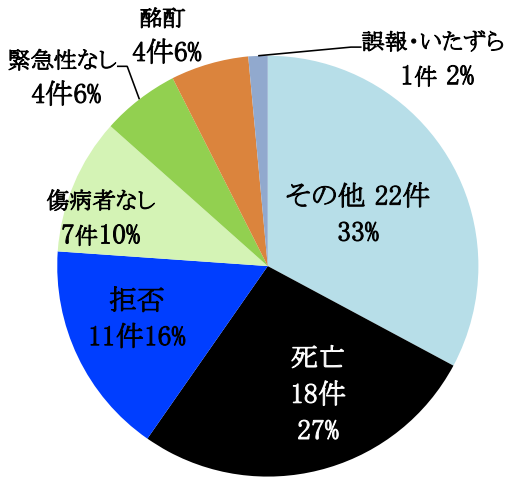
種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	1	5	2	2	3	2	3	6	3	3		2	32
一般負傷						1		4		3	1		9
交通事故	1	1	1	1	2	2	3	3	4	3	5	1	27
火災			1										1
労働災害				1									1
出場件数	2	6	4	4	5	5	6	13	7	9	6	3	70

## 中央道救急搬送人員

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	1	5	2	2	3	2	2	5	3	3		2	30
一般負傷						1		3		2	1		7
交通事故		1	3	1	3	2	5	3	5	3	8	1	35
火災			1										1
労働災害				1									1
搬送人員	1	6	6	4	6	5	7	11	8	8	9	3	74
不搬送	1						1	2		2			6

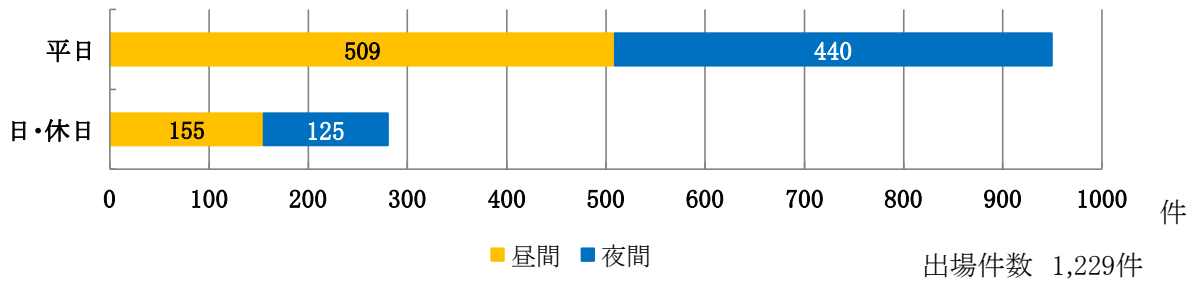
## ㊫ 不搬送件数内訳

平成30年中の不搬送件数は、出場1,229件の内67件でした。

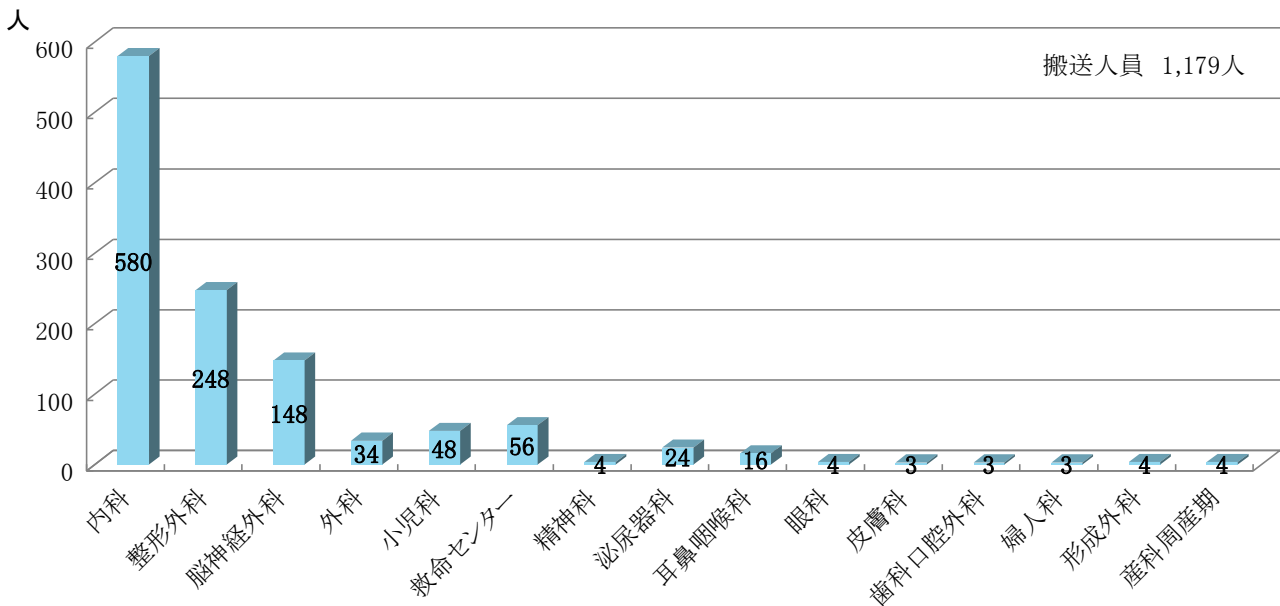


	誤報	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酩酊	死亡	その他	合計
急病		2	3	6	3	13	4	31
交通事故	1		2	2			6	11
一般負傷		2	1	3	1		11	18
自損行為						5		5
労働災害							1	1
水難			1					1
	1	4	7	11	4	18	22	67

## ㊬ 平日・休日及び昼夜救急要請件数調べ



## ㊭ 診療科目別内訳



# 救助業務

## ① 救助出場状況

種別		火災	交通事故	水難事故	建物等による事故	機械による事故	自然災害	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	計
区分	出場件数		8			1				13	22
	活動件数		6			1				9	16
	活動人員		53			6				78	137
救助人員	男		4			1				8	13
	女		2							1	3
	計		6			1				9	16
出動車両	救助工作車		8			1				12	21
	ポンプ車		2							1	3
	指揮車		3							12	15
	その他の車両		10			1				17	28
	計		23			2				42	67

火災：火災に起因して生じた事故

交通事故：全ての交通機関相互及び単独の事故若しくは歩行者が交通機関に接触等をした事故

水難事故：水泳中の溺者又は水中転落事故

建物等による事故：建物・門・柵・塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物に挟まれる事故

機械による事故：エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械による事故

自然災害：暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑りその他異常な自然現象に起因する災害

ガス及び酸欠事故：一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故

破裂事故：火災事故以外のボイラー、ポンプ等の物理的破裂による事故

その他の事故：前にあげた事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたもの

## ② 救助訓練写真

平成30年実施 合同救助訓練（上野原警察署、上野原市消防本部）



# 秋山出張所

# 施 設 の 状 況

位 置	所 在 地	施 設	付 帯 設 備
北緯 35度33分58秒 東経 139度4分55秒 標高 375m	上野原市秋山7131番地	敷地面積 1208.04㎡ 構 造 S R C 3階建 床面積 519.07㎡	物置 ホース 乾燥塔

## 現 有 車 両 一 覧

種 別	車 名	年 式	排 気 量	型 式	級 別
ポンプ車	いすゞエルフ	H14	4,570cc	4HG1	A-1
救急車	日産パラメディック	H20	3,498cc	VQ35DE	高規格

## 消 防 装 備 一 覧

区分	品 名	数 量
通 信 施 設 等	消防無線基地局	1
	移動局 秋山ポンプ1	1
	移動局 秋山救急1	1
	携帯局 秋山ポンプ310	1
	携帯局 秋山ポンプ411	1
	携帯局 秋山救急310	1
	加入電話回線数	1
	本庁一斉指令受信装置	1
	携 帯 電 話	1
	非常電源（発電機）	1
ファクシミリ	1	
照 明 機 材	投 光 器	1
	コードリール	1
	三 脚	1
	発電機（ホンダ）	1
消 防 資 機 材 等	空 気 呼 吸 器	2
	防 毒 マ ス ク	3
	ホース（50mm）	41
	ホース（65mm）	7
	ホースカー	1
	ホース背負いかご	2
	ホースバッグ	1
	折りたたみ梯子	1
	ホースクランプ	1
	ホースブリッジ	2
	ドラゴン	1
	ジェットシューター	7
	ラインプロポーション	1
	小型ポンプ	1
	単口引上式スタンドパイプ	1
	消火栓用圧力計	1
	現場調査用具セット	1
ガス検知器（一式）	1	
資 救 機 材 助 等 用	救助用ロープ	4
	カラビナ	10
	滑 車	5

区分	品 名	数 量
救 助 用 資 機 材 等	チェンソー	1
	エンジンカッター	1
	コンビツール	1
	油圧式マルチカッター	1
	万能搬送具（一式）	1
	バスケットストレッチャー	1
	サバイバースリング	1
	安 全 帯	2
	縛 帯	2
	弁 慶	1
拡 声 器	3	
用 山 資 岳 器 救 材 助	ロープ（50m）	2
	リギングプレート	1
	プルージックコード	10
	ツイストロックカラビナ	5
	角プーリー	2
救 急 用 資 機 材 等	A E D 一 式	1
	心電図計一式	1
	自動心肺蘇生器	1
	自動吸引器	1
	喉頭鏡一式	2
	血 圧 計	3
	頰椎固定器具一式	1
	バキュームスプリント	1
	バックボード一式	1
	イーバックチェアー	1
エアストレッチャー	1	
そ の 他	ターポリンタンカ	1
	防刃ベスト	2
そ の 他	パ ソ コ ン	3
	ハンディーGPS	1
	デジタルカメラ	1
	バッテリー充電器	1
	ガレージジャッキ	1
ギアレレンチ	1	

## 月 別 火 災 等 出 動 状 況

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

区分 月 別	合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合 計	126	16	16	11	11	8	7	10	14	9	10	8	6
建 物 火 災	3	1		1								1	
林 野 火 災	0												
車 両 火 災	1		1										
そ の 他 火 災	0												
救 助 ・ そ の 他	1				1								
本署緊急配備	121	15	15	10	10	8	7	10	14	9	10	7	6

## 検 査 ・ 調 査 ・ 広 報 ・ 警 戒 等 の 実 施 状 況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

区 分 地 区 別	秋 山
合 計	121 回
立 入 検 査	2 回
避 難 訓 練	2 回
消 防 訓 練	12 回
救 助 訓 練	37 回
救 急 指 導	4 回
消 防 団 指 導	8 回
そ の 他 指 導	0 回
警 防 調 査	13 回
地 水 利 調 査	28 回
怪 煙 調 査	1 回
警 戒 ・ そ の 他 調 査	1 回
広 報 活 動	13 回

# 月 別 救 急 活 動 状 況

秋山出張所

区 分 月 別		合 計	救 急 事 故 種 別													小 計	不 搬 送	
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他					
													転 院	医 師	資 器 材			そ の 他
合 計	出 場 件 数	86 件	0	0	0	8	2	0	24	0	2	36	14	0	0	0	14	8
	搬 送 人 員	79 人	0	0	0	8	2	0	19	0	1	35	14	0	0	0	14	
1	出 場 件 数	6 件					1		1			1	3				3	1
	搬 送 人 員	5 人					1		0			1	3				3	
2	出 場 件 数	9 件							1			7	1				1	0
	搬 送 人 員	9 人							1			7	1				1	
3	出 場 件 数	14 件				2			1			5	6				6	0
	搬 送 人 員	14 人				2			1			5	6				6	
4	出 場 件 数	5 件							1			4					0	0
	搬 送 人 員	5 人							1			4					0	
5	出 場 件 数	3 件				1			1			1					0	1
	搬 送 人 員	3 人				2			0			1					0	
6	出 場 件 数	6 件							2			4					0	0
	搬 送 人 員	6 人							2			4					0	
7	出 場 件 数	7 件				1			3			2	1				1	2
	搬 送 人 員	5 人				0			3			1	1				1	
8	出 場 件 数	11 件				2			7		2	0					0	2
	搬 送 人 員	9 人				2			6		1	0					0	
9	出 場 件 数	4 件							2			2					0	0
	搬 送 人 員	4 人							2			2					0	
10	出 場 件 数	10 件				2	1		3			2	2				2	1
	搬 送 人 員	9 人				2	1		2			2	2				2	
11	出 場 件 数	8 件							2			5	1				1	1
	搬 送 人 員	7 人							1			5	1				1	
12	出 場 件 数	3 件										3					0	0
	搬 送 人 員	3 人										3					0	



# 桐原出張所

施設の状況

位置	所在地	施設	付帯設備
北緯 35度40分35秒	上野原市桐原10,744番地	敷地面積	709m <sup>2</sup>
東経 139度4分29秒		構造	鉄骨造平屋建
標高 370m		床面積	119.88m <sup>2</sup>
			ロッカー室 物置 ホース乾燥塔

現有車両一覧

種別	車名	年式	排気量	原動機の型式	級別
ポンプ車	日野デュトロ(4WD)	H26	4,000cc	N04C	A-2
救急車	トヨタハイエース(4WD)	H30	2,690cc	2TR	

消防装備一覧

区分	品名	数量	区分	品名	数量	
通信施設等	消防無線基地局(桐原卓上1)	1	山岳救助資機材	スタティックロープ(50m)	3	
	移動局(桐原ポンプ1)	1		ハーネス	3	
	移動局(桐原救急1)	1		シングルプリー	5	
	携帯局(桐原ポンプ310)	1		ダブルプリー	2	
	携帯局(桐原ポンプ411)	1		エイト環	3	
	携帯局(桐原救急310)	1		D型カラビナ	17	
	加入電話回線数(ファクシミリ)	1		ブルージックコード	10	
	本庁一斉指令受信装置	1		ウェビング	2	
	携帯電話	1		スリング	6	
	非常電源(発電設備)	1		リギングプレート	2	
	非常電源(発電機)	1		チェーンレクター、デイジーチェーン	3	
照明	シリンダー式LEDライト	1	機	スカラベ	1	
	LEDハンドライト	4	材	スイベル	1	
消防資機材等	空気呼吸器(29.4Mpa空気ボンベ付)	3	救	アイディーS(セルフブレーキ降下器具)	1	
	消防用50mmホース	38	急用資機材等	モニター付AED	1	
	消防用65mmホース	6		心電図モニター	1	
	ホースバンド	11		自動式心臓マッサージ器	1	
	ホースブリッジ	4		人工呼吸器	2	
	ホースカー	1		自動吸引器	2	
	ジェットシューター	5		バックバルブマスク	5	
	ラインプロポーションナー	1		硬性喉頭鏡・ビデオ喉頭鏡	各1	
	単口引上式スタンドパイプ	1		全脊柱固定器具一式	2	
	二股分岐	2		頸椎固定器具	4	
	ディスクストレナー	1		メインストレッチャー	1	
	空気ボンベ(14.7Mpa)	4		サブストレッチャー	1	
	小型ポンプ	1		エアーストレッチャー	1	
	オートマチックノズル	2		陰圧式固定ギプス	1	
	ホース巻機	1		上半身用脊柱固定器具	1	
	救助資機材等	折りたたみ式かぎ付梯子		1	材	血糖測定器
救助用ロープ(50m)		1			布担架	1
小綱		5	等	座位搬送資機材	1	
チェンソー		2	その他	ハンディーGPS	1	
エンジンカッター		2		消火器	1	
車両破壊器具一式		2		防刃ベスト	2	
カラビナ		4		有毒ガス検知器	1	

## 月 別 火 災 等 出 動 状 況

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

区分 月 別	合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合 計	129	7	10	9	15	11	7	11	14	10	8	18	9
建 物 火 災	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署配置転換	128	7	10	8	15	11	7	11	14	10	8	18	9

## 検 査 ・ 調 査 ・ 広 報 ・ 警 戒 等 の 実 施 状 況

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

地区別 区 分	合 計	梶 原	西 原
合 計	53回	28回	25回
立入検査(防火対象物)	1回	1回	0回
立入検査(危険物施設)	1回	1回	0回
立入検査(自家用バス)	0回	0回	0回
地 水 利 調 査	37回	21回	16回
広報活動・ポスター配布	8回	4回	4回
西原ふるさと祭り警備	2回		2回
そ の 他 の 調 査	4回	1回	3回

# 月 別 救 急 活 動 状 況

桐原出張所

区 分 月 別		合 計	救 急 事 故 種 別														不 搬 送	
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他					小 計
													転 院	医 師	資 器 材	そ の 他		
合 計	出場件数	85 件	0	0	0	6	2	0	16	0	1	49	10	0	0	1	11	5
	搬送人員	80 人	0	0	0	6	2	0	14	0	0	47	10	0	0	1	11	
1	出場件数	12 件				3			4			5						1
	搬送人員	11 人				3			3			5						
2	出場件数	10 件							3			7						0
	搬送人員	10 人							3			7						
3	出場件数	6 件							1			5						1
	搬送人員	5 人							1			4						
4	出場件数	9 件							1			4	4				4	1
	搬送人員	8 人							1			3	4				4	
5	出場件数	5 件				1			2				2				2	0
	搬送人員	5 人				1			2				2				2	
6	出場件数	6 件							1			4	1				1	0
	搬送人員	6 人							1			4	1				1	
7	出場件数	11 件					1		1			8	1				1	0
	搬送人員	11 人					1		1			8	1				1	
8	出場件数	8 件				1	1					4	2				2	0
	搬送人員	8 人				1	1					4	2				2	
9	出場件数	3 件									1	2						1
	搬送人員	2 人									0	2						
10	出場件数	7 件							2			4				1	1	1
	搬送人員	6 人							1			4				1	1	
11	出場件数	6 件				1			1			4						0
	搬送人員	6 人				1			1			4						
12	出場件数	2 件										2						0
	搬送人員	2 人										2						

# 消防団関係

### 消防団員階級別定数と実員 (H31.4.1現在)

階級 区分	条例定数	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平成29年度	972	885	1	2	10	20	49	260	543
平成30年度	972	891	1	2	10	20	49	260	549
平成31年度	972	881	1	2	10	20	49	256	543

### 分団別地域一覧 (H31.4.1現在)

区分 分団名	部数	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口(人)	世帯数	行政区数
大目分団	5	8.86	859	434	15
甲東分団	7	17.92	942	368	8
巖分団	6	12.88	5,694	2,344	18
大鶴分団	4	4.81	899	382	8
島田分団	3	8.91	1,981	860	8
上野原分団	5	8.98	9,713	4,244	39
桐原分団	8	26.53	932	415	10
西原分団	5	36.68	556	283	13
秋山第一分団	3	24.96	888	324	10
秋山第二分団	3	20.04	731	283	8
計	49	170.57	23,195	9,937	137

※ 人口(住民基本台帳)・世帯数は、平成31年4月1日現在

### ポンプ配置状況 (H31.4.1現在)

ポンプ別 分団別	ポンプ自動車	小型動力ポンプ 付積載車	合計
大目分団	3	2	5
甲東分団	1	6	7
巖分団	3	3	6
大鶴分団	2	2	4
島田分団	2	1	3
上野原分団	4	3	7
桐原分団	4	5	9
西原分団	1	5	6
秋山第一分団	1	7	8
秋山第二分団	1	6	7
計	22	40	62

### 在職年数別消防団員の状況 (H31. 4. 1現在)

年数 分団	小 計	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30以上
本 団	33	7	9	7	1	4	1	4
大 目 分 団	73	6	8	5	8	17	16	13
甲 東 分 団	102	8	3	18	22	20	16	15
巖 分 団	]84	10	16	4	16	16	11	11
大 鶴 分 団	47	7	9	7	9	7	7	1
島 田 分 団	70	10	10	10	12	10	9	9
上 野 原 分 団	115	18	14	20	17	21	13	12
桐 原 分 団	104	10	9	15	21	32	12	5
西 原 分 団	75	2	4	5	5	19	18	22
秋山第一分団	94	14	13	16	12	16	15	8
秋山第二分団	84	9	12	4	12	15	17	15
合 計	881	101	107	111	135	177	135	115

## 年齢別・階級別消防団員の状況 (H31.4.1現在)

階級 年 齢	小 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
18歳	0								0
19歳	0								0
20歳	0								0
21歳	1							1	21
22歳	1							1	22
23歳	0								0
24歳	6							6	144
25歳	8							8	200
26歳	6						2	4	156
27歳	3							3	81
28歳	10						2	8	280
29歳	13						4	9	377
30歳	17						2	15	510
31歳	12						4	8	372
32歳	15					1	4	10	480
33歳	19						5	14	627
34歳	11						5	6	374
35歳	17						9	8	595
36歳	21					1	10	10	756
37歳	19						8	11	703
38歳	23					1	11	11	874
39歳	23					1	11	11	897
40歳	27					3	11	13	1,080
41歳	26					2	12	12	1,066
42歳	25						12	13	1,050
43歳	32			1	1	1	14	15	1,376
44歳	27					1	12	14	1,188
45歳	24					5	10	9	1,080
46歳	32					3	10	19	1,472
47歳	43				2	5	13	23	2,021
48歳	27					1	7	19	1,296
49歳	31				3	2	8	18	1,519
50歳	33			1	2	4	11	15	1,650
51歳	30				1	2	9	18	1,530
52歳	32				2	4	4	22	1,664
53歳	25				1	4	8	12	1,325
54歳	25			1	3	2	9	10	1,350
55歳	25			2	1	2	4	16	1,375
56歳	32			2			4	26	1,792
57歳	24			2	1	1	6	14	1,368
58歳	16				1		2	13	928
59歳	22		1				3	18	1,298
60歳	15	1			1		3	10	900
61歳	15		1				1	13	915
62歳	24			1		3	5	15	1,488
63歳	13						1	12	819
64歳	9				1			8	576
65歳以上	22							22	1,430
合 計	881	1	2	10	20	49	256	543	41,025



# 東部指令 センター関係

# 一般電話・IP電話・携帯電話別

## 119番等受信状況

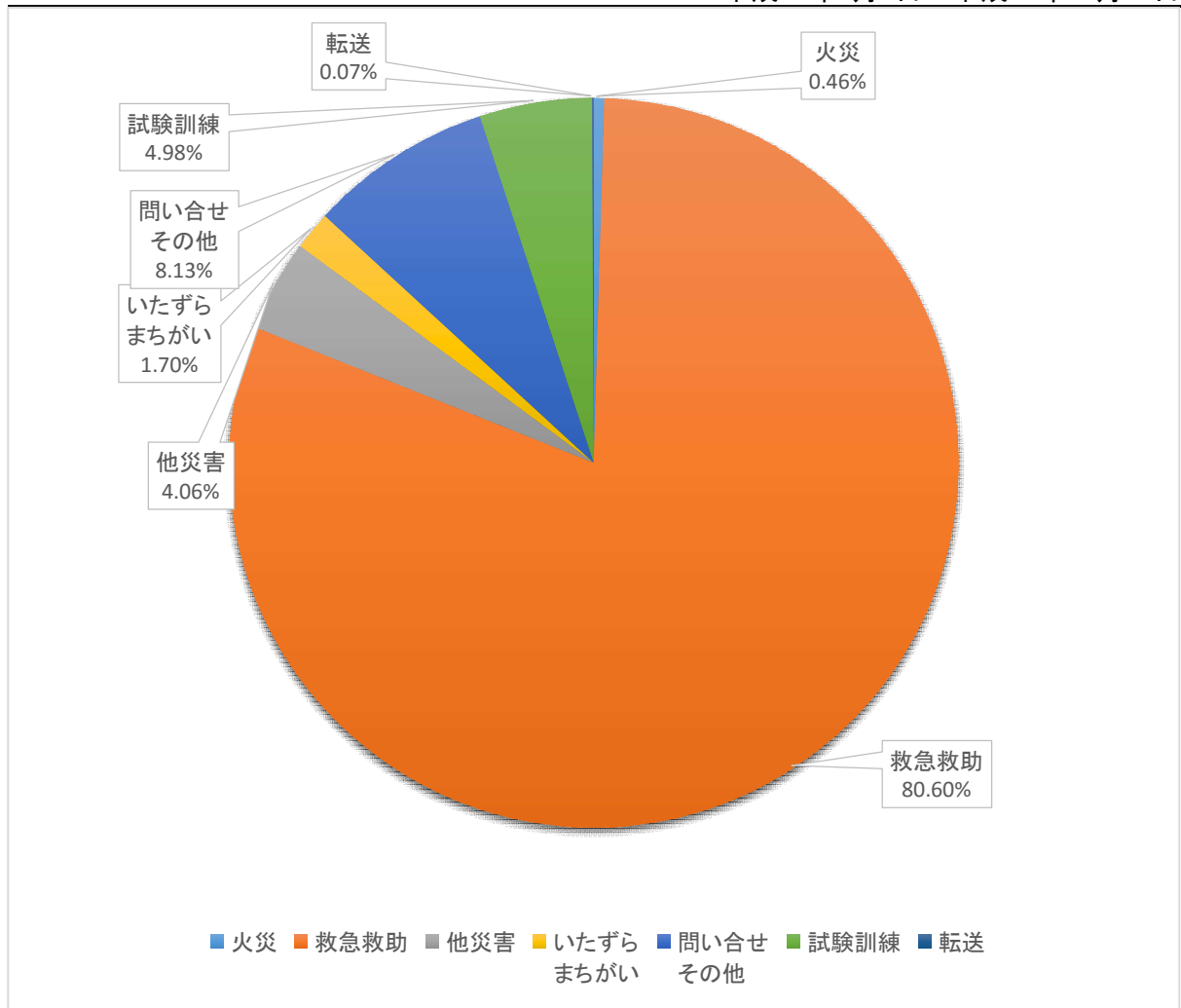
平成30年1月1日～平成30年12月31日

種別	合計	固定電話		携帯電話	その他
		一般電話	IP電話		
小計		737 48.30%	192 12.58%	517 33.88%	80 5.24%
送受信数	1526	929		517	80
火災	7	0	0	7	0
救急救助	1230	554	161	477	38
他災害	62	27	1	9	25
いたずら まちがい	26	12	9	4	1
問合せ その他	124	79	14	18	13
試験 訓練	76	65	7	1	3
転送	1	0	0	1	0

※その他(119番以外)の欄は、専用線・駆け込み・無線等を示します。

# 119番等受信状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日



	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総受信数	1526	150	128	139	136	114	114	160	131	112	116	126	100
火災	7	1	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0
救急救助	1230	127	100	110	106	86	90	129	106	93	97	102	84
他災害	62	2	7	3	6	5	4	9	5	6	4	8	3
いたずら まちがい	26	4	4	1	3	5	0	3	1	0	1	1	3
問い合わせ その他	124	11	13	18	10	11	7	11	12	7	10	8	6
試験訓練	76	5	3	5	11	5	13	8	6	6	3	7	4
転送	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

# 平成30年版消防年報

---

令和元年8月発行

上野原市消防本部・消防署

〒409-0115 山梨県上野原市松留514番地8

TEL 0554-62-4112 (消防本部)

TEL 0554-62-4111 (消防署)

FAX 0554-63-4119

FAX 0554-62-5119 (夜間)

e-mail

[shobo-shomu@city.uenohara.lg.jp](mailto:shobo-shomu@city.uenohara.lg.jp)